



BEPPE UNIVERSITY

令和 7 年度

卒業生アンケート調査結果報告書

令和 8 年 1 月 7 日

別府大学

2025 年度 卒業生アンケート

はじめに

平成 30 年度にアセスメント・ポリシーの一環として、別府大学教育への「卒業生調査による『卒後評価』」を把握するため、聴き取りによる卒業生アンケートを実施し、その結果をホームページ上に公開しています。

昨年に続いて 8 回目となる令和 7 年度の卒業生アンケートは 2022 年度・2020 年度・2018 年度卒業生を対象に実施いたしました。

その結果、依頼に対して 150 件の回答が得られました。今回の調査は、学科ごとの DP 達成度などを測るには十分な標本数とはなりませんでしたが、別府大学全体の傾向を知る上で大変参考になる結果が出たと考えています。忙しい中、アンケートにご協力いただいた卒業生の皆様には、感謝申し上げます。

卒業生アンケート実施目的

大学におけるカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの整合性を検討するとともに、社会へ出る卒業生に必要となる社会人力と、専門課程での学びを結び、大学の教育の成果を測定するとともに、今後必要となるプログラム開発に資する目的で本調査を実施する。

1. アンケート実施方法

2025 年度の卒業生アンケートは、2022 年度・2020 年度・2018 年度卒業生、1087 名を対象として実施した。

卒業生アンケートへの回答依頼は、回答依頼文書の郵送により実施した。

アンケートの実施は令和 7 年 7 月 30 日(水)～8 月 17 日(日)として、インターネット上に設置したアンケートへの回答により求めた。

2. 結 果

総回答数 150 件を分析の対象とした(未回答の設問有)。

150 件の内訳は 2022 年度卒業生 85 名、2020 年度卒業生 33 名、2018 年度卒業生 32 名であった。また、6 学科の各卒業年度における回答数を表 1 に示した。

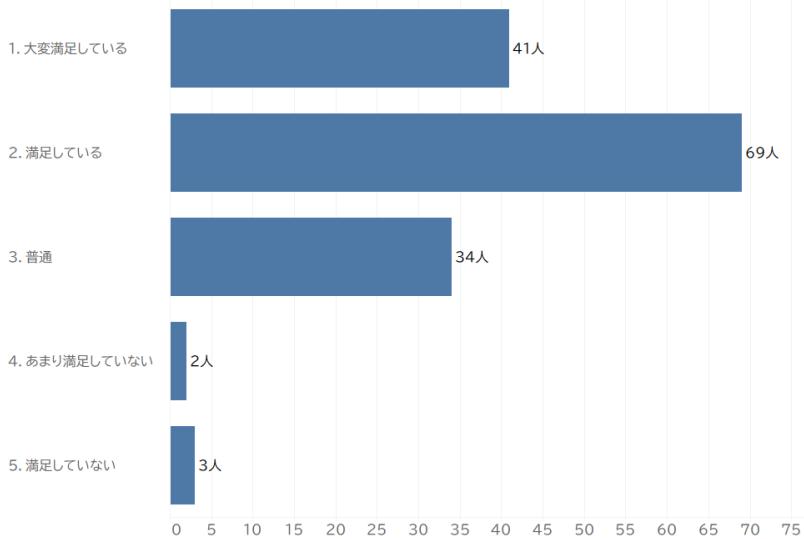
学科＼年度	2022年度	2020年度	2018年度	合計
国際言語・文化学科	12	6	8	26
史学・文化財学科	26	9	5	40
人間関係学科	15	6	4	25
食物栄養学科	21	9	7	37
発酵食品学科	4	1	4	9
国際経営学科	7	2	4	13
計	85	33	32	150

表 1. 6 学科における卒業年度別回答者数

「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか」の問い合わせに対する卒業生の学科別の回答比率を集計し、図 1 に示した。

1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか。

1. あなたは別府大学で学..



1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか。

卒業した学部・学科

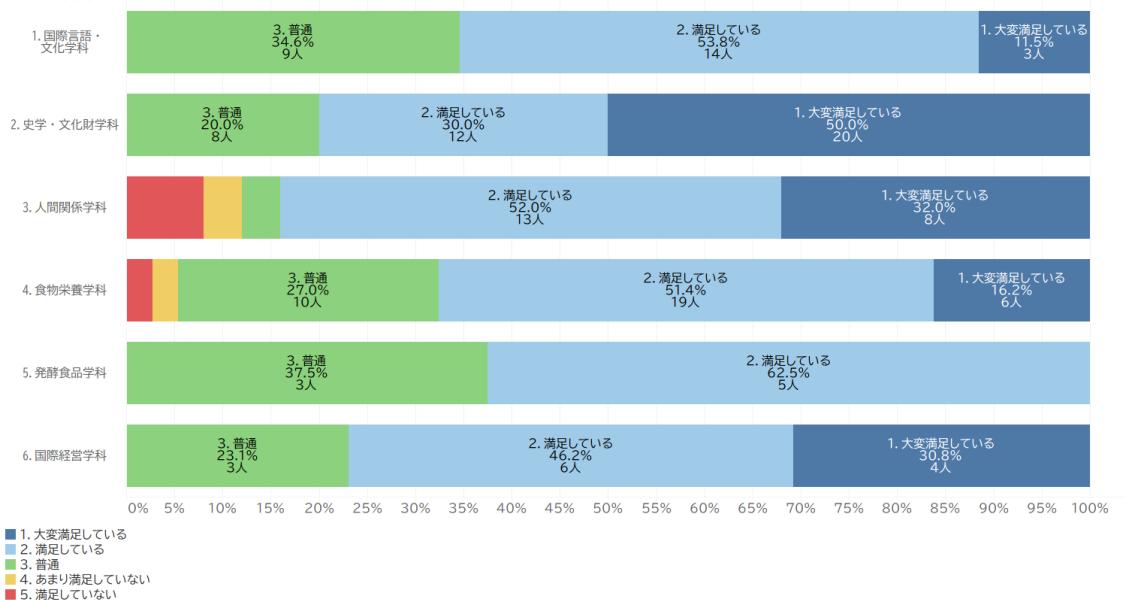


図 1.「1.あなたは別府大学で学んだことに満足していますか。」(149件の回答)の全学科集計及び学科別集計(複数回答をした回答者もいたため、基データの調整を行った(肯定回答→否定回答へ))

「1.あなたは別府大学で学んだことに満足していますか。」については、「大変満足している」「満足している」「普通」の肯定的回答が多く、多くの学科にて別府大学で学んだことに満足していると感じる卒業生が多数を占めている。

一方で、「役立たなかった」「努力が必要だった」とする否定的回答も一部の学科であった。

「2. 別府大学で学んだ中で良かったところを 1 位から 3 位まで回答してください。」

「2-1. 別府大学で学んだ中で最も良かったところ」「2-2. 別府大学で学んだ中で 2 番目にも良かったところ」「2-3. 別府大学で学んだ中で 3 番目にも良かったところ」の問い合わせについて、集計した結果を図 2 に示した。

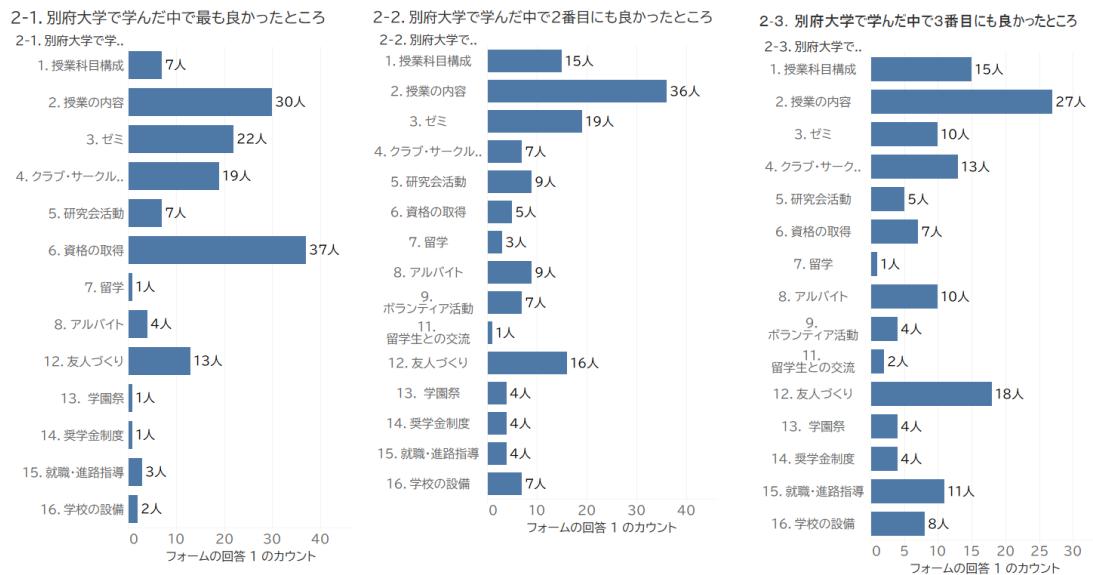


図 2.「2-1. 別府大学で学んだ中で最も良かったところ」(147 件の回答)「2-2. 別府大学で学んだ中で 2 番目にも良かったところ」(146 件の回答)「2-3. 別府大学で学んだ中で 3 番目にも良かったところ」(139 件の回答)の全学科集計

「2. 別府大学で学んだ中で良かったところを 1 位から 3 位まで回答してください。」については、「授業の内容」と「資格の取得」が圧倒的に多く、次いで「ゼミ」や「友人づくり」、「クラブ・サークル活動」が上位に挙げられている。一方で、「留学」「学園祭」「奨学金制度」などは少数にとどまっている。

「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか。1 位から 3 位まで回答してください」

「3-1. 最も向上した知識・能力」「3-2. 2 番目に向上した知識・能力」「3-3. 3 番目に向上した知識・能力」について、集計した結果を図 3 に示した。

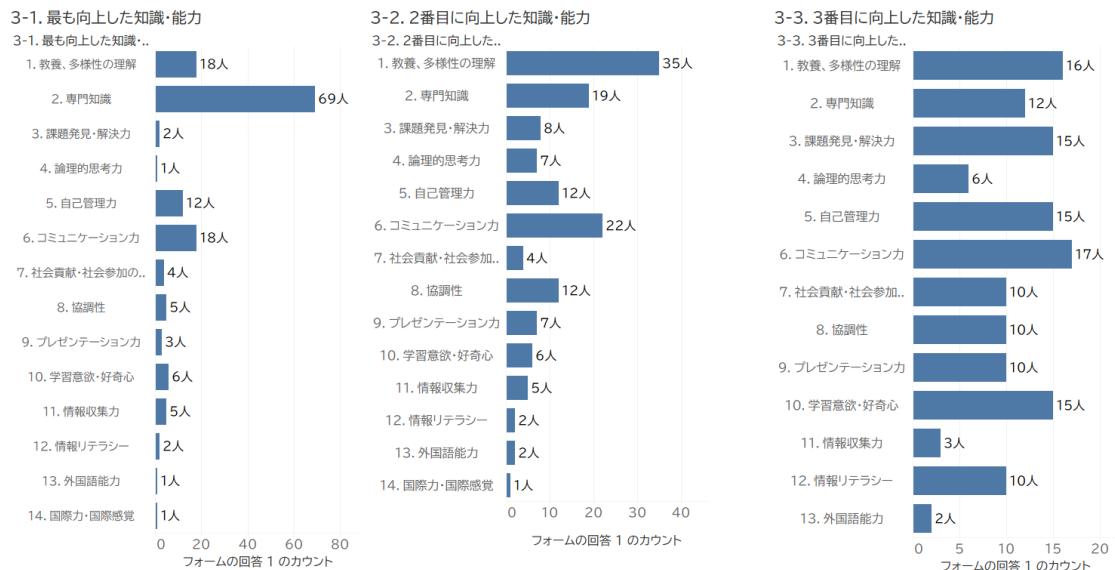


図 3.「3-1. 最も向上した知識・能力」(147 件の回答)「3-2. 2 番目に向上した知識・能力」(142 件の回答)
「3-3. 3 番目に向上した知識・能力」(141 件の回答)の全学科集計

「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか。1位から3位まで回答してください」については、「専門知識」が圧倒的に高く、最も向上した能力として 69 人が選択している。他の項目に比べて突出しており、大学教育が学生に専門性を強く身につけさせていると卒業生が感じていることがわかる。

2 番目・3 番目に移るにつれ「専門知識」の割合は減少し、代わりにコミュニケーション力、「課題発見・解決力」、「自己管理力」など汎用的スキルが相対的に多くなっている。

「4. 就職してから社会人として必要と思われる知識・能力はどのようなことですか。1位から3位まで回答してください。」

「4-1.最も必要と思われる知識・能力」「4-2. 2 番目に必要と思われる知識・能力」「4-3. 3 番目に必要と思われる知識・能力」について、集計した結果を図 4 に示した。

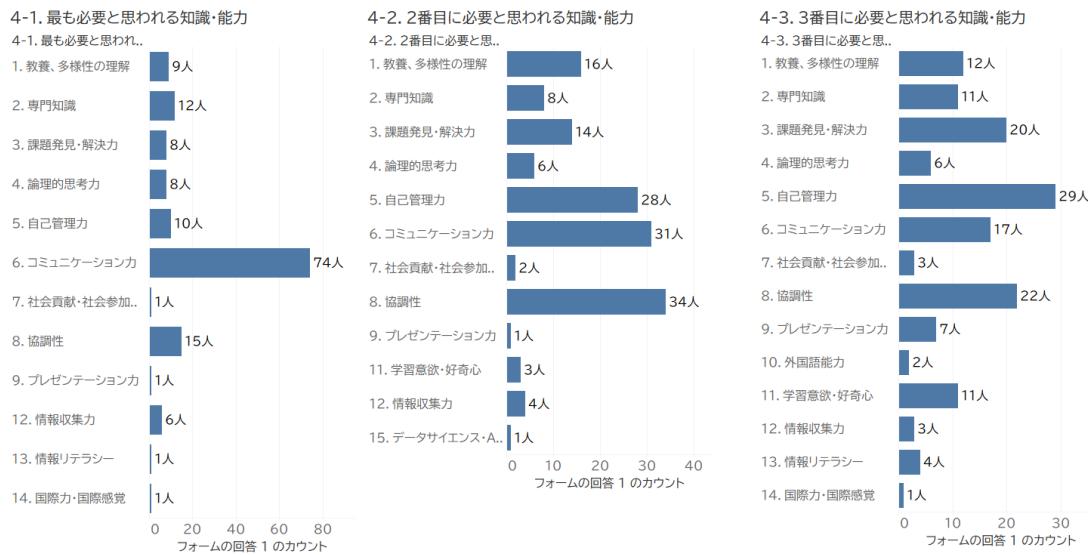


図 4. 「4-1.最も必要と思われる知識・能力」(146 件の回答)「4-2. 2 番目に必要と思われる知識・能力」(148 件の回答)「4-3. 3 番目に必要と思われる知識・能力」(148 件の回答)の全学科集計

就職してから社会人として必要と思われる知識・能力については、「コミュニケーション力」が最重要視されており、他の能力に比べ圧倒的に選択された割合が多い。

「協調性」「自己管理力」が 2 番目・3 番目で強調され、対人関係と自己統制の両方が重視されていることがわかる。

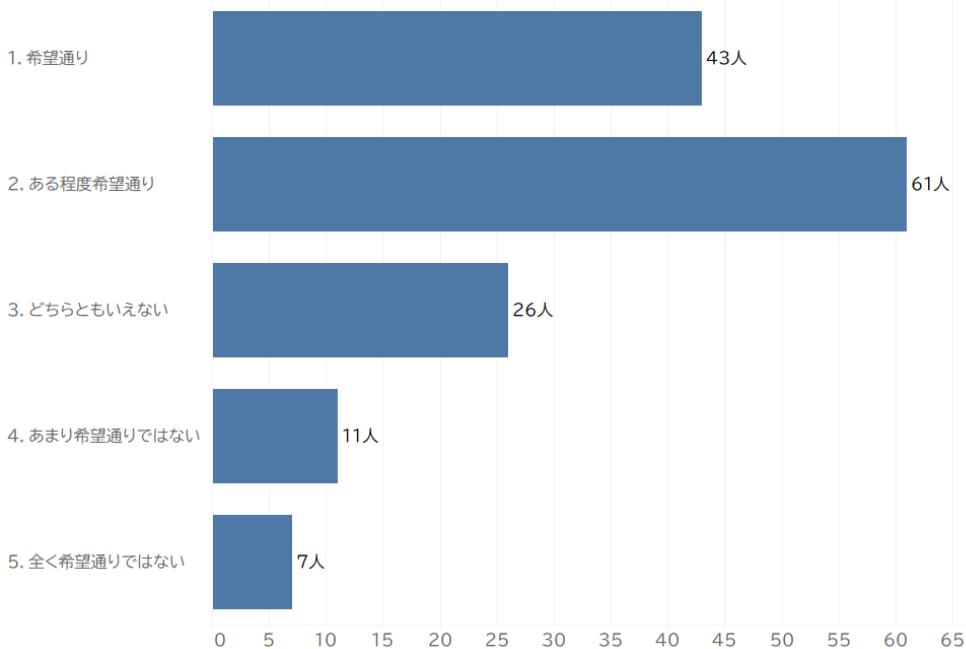
「課題発見・解決力」や「専門知識」は最も必要とは考えられてはいないが、2 番目・3 番目では一定数選ばれており、基盤能力として認識されている。

3 位になると「学習意欲・好奇心」「プレゼンテーション力」など、発展的・応用的な能力も必要と考えられていることがわかる。

「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。」の回答を全学科集計及び各学科集計した結果を図 5 に示した。

5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか(全学科)

5. 卒業後の進路は希望に..



5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。(各学科)

卒業した学部・学科

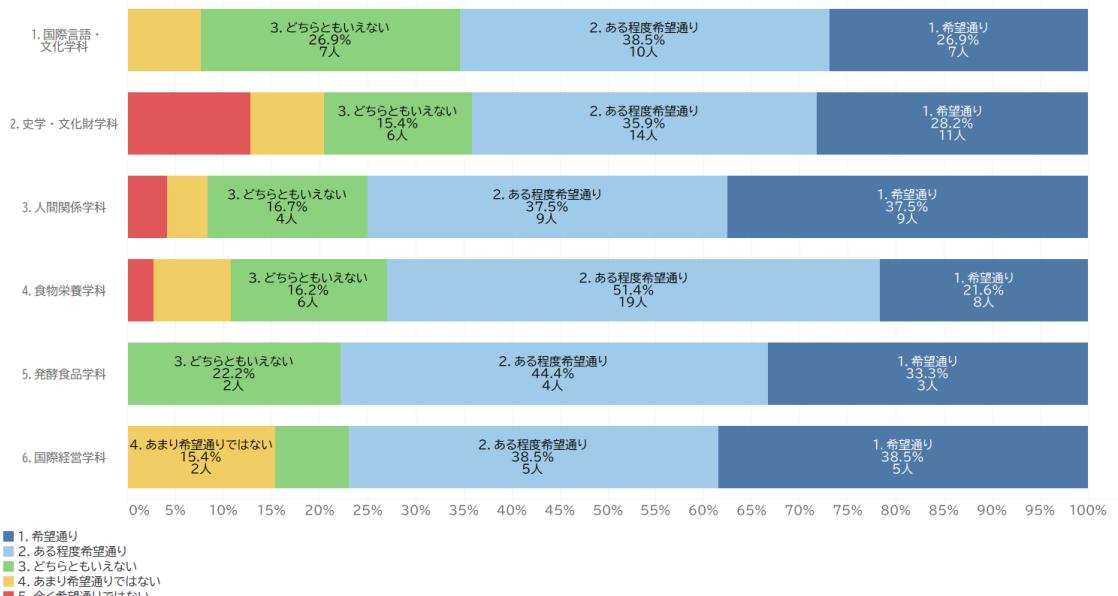


図5.「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。」(148件の回答)の全学科集計及び各学科集計(本項目の未回答者がいたため、総数から除いている。また複数回答をした回答者もいたため、基データの調整を行った(肯定回答→否定回答へ))

「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。」については、「希望通り」、「ある程度希望通り」が多数派を占め、どの学科も 6 割以上が進路に満足していることが分かる。一方で「どちらともいえない」や「希望通りではない」と感じている層も一定数存在し、学科によって差が見られる。

「6. 大学生活で以下の知識・能力がどの程度身についたか、最もよくあてはまるものを選んでください。※(1)～(18)の項目に分かれています。

「(1)幅広い教養・一般常識」(DP:教養)の全体集計及び各学科集計した結果を図 6 に示した。

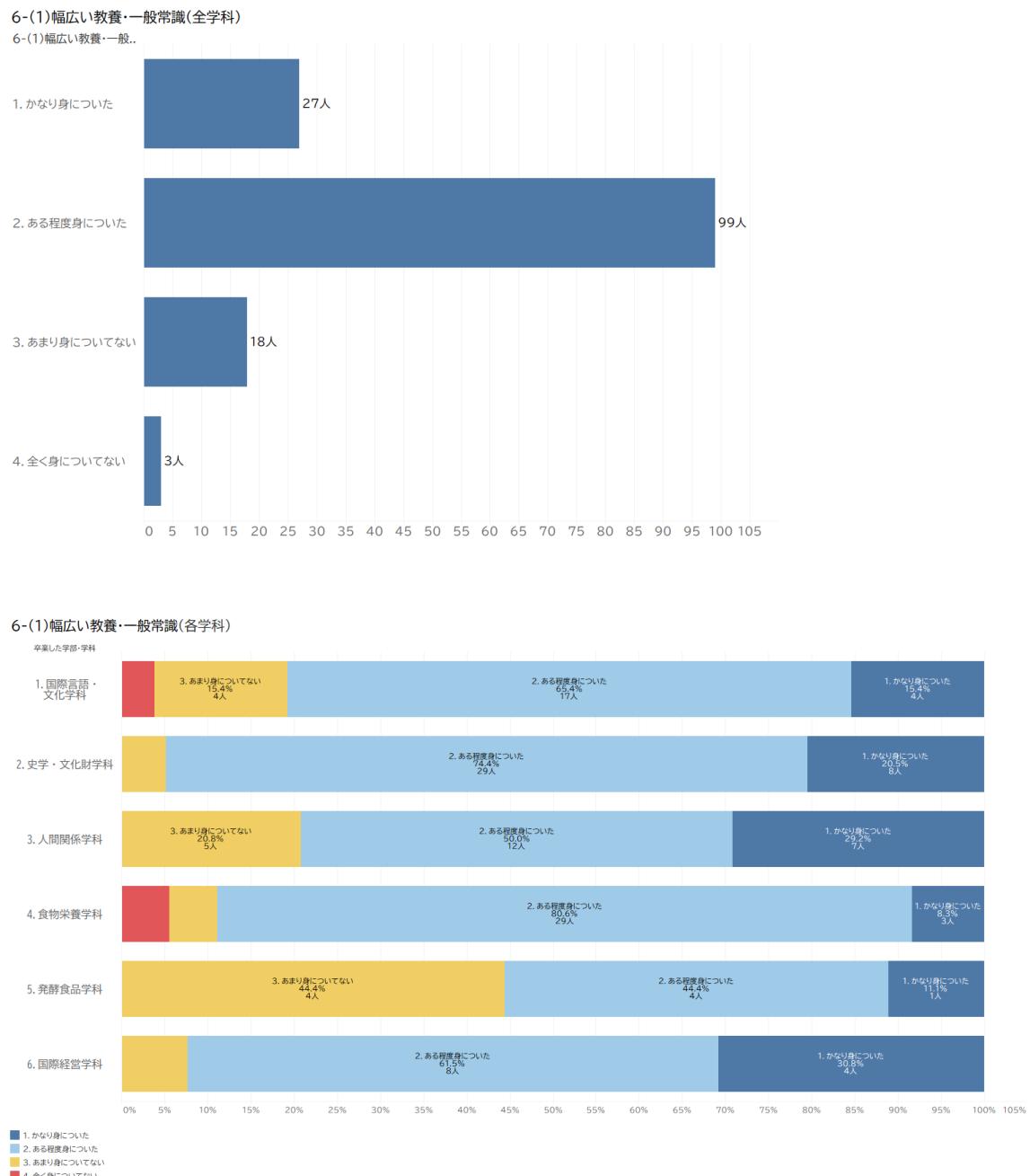


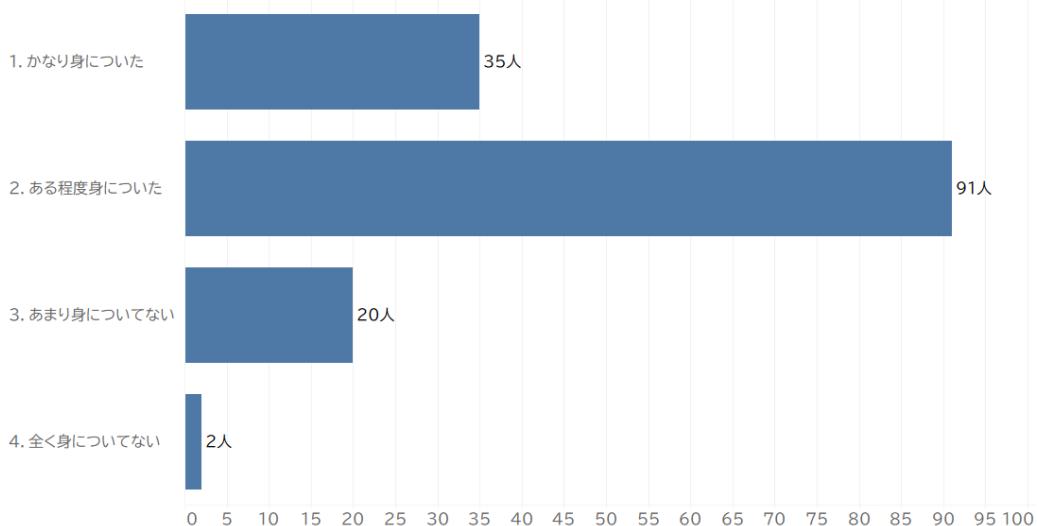
図 6.「(1)幅広い教養・一般常識」(147 件の回答)の全学科集計及び各学科集計

「(1)幅広い教養・一般常識」については、大多数が「かなり身についた」「ある程度身についた」と回答しており、教養・一般常識の定着度は全体的に高いと感じていることがうかがえる。「あまり身についていない」「全く身についていない」と答えた割合は少数にとどまるが、学科によって差が見られる。

「(2)社会や文化の多様性を理解・尊重し、異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる」(DP:教養)の全体集計及び各学科集計した結果を図 7 に示した。

6-(2)社会や文化の多様性を理解・尊重し、異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる(全学科)

6-(2)社会や文化の多様..



6-(2)社会や文化の多様性を理解・尊重し、異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる(各学科)

卒業した学部・学科



図 7.「(2)社会や文化の多様性を理解・尊重し、異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる」(148 件の回答)の全学科集計及び各学科集計

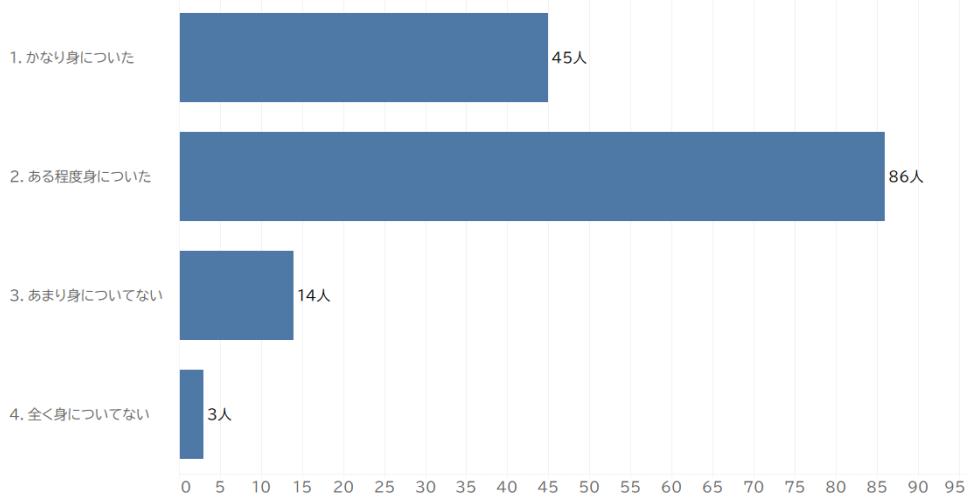
「(2)社会や文化の多様性を理解・尊重し、異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる」については、「かなり身についた」、「ある程度身についた」が多数派で、各学科とも 6 割～9 割の卒業生が肯定的に回答している。

一方で、「あまり身についていない」と答えた層も 1～2 割程度存在しており、学科ごとに差が見られる。

「(3)専門分野の基礎的な知識・技術」(DP:専門力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 8 に示した。

6-(3)専門分野の基礎的な知識・技術(全学科)

6-(3)専門分野の基礎的..



6-(3)専門分野の基礎的な知識・技術(各学科)

卒業した学部・学科

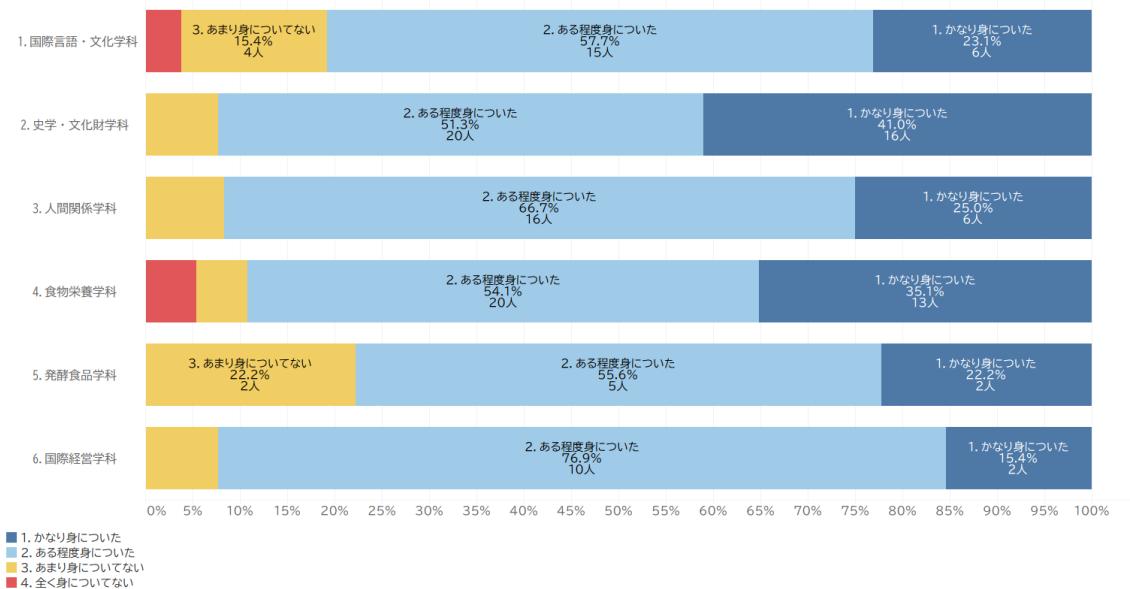


図 8.「(3)専門分野の基礎的な知識・技術」(148 件の回答)の全学科集計及び各学科集計

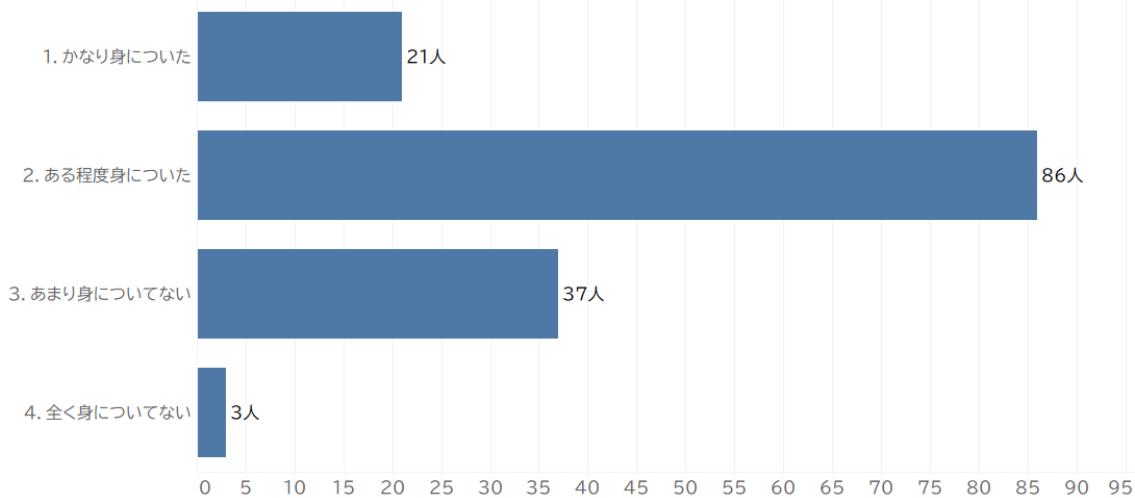
「(3)専門分野の基礎的な知識・技術」については、「かなり身についた」、「ある程度身についた」が大多数を占め、どの学科の卒業生も 7 割以上が肯定的に回答している。

一方で、「あまり身についていない」と答えた層も 1~2 割程度存在しており、学科ごとに差が見られる。一部の学科では「あまり身についていない」と回答した学生も目立つ。

「(4)現状を分析し、問題点や課題を発見し、既存の枠にとらわれず、新しい発想やアイデアを出す」(DP:思考力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 9 に示した。

6-(4)現状を分析し、問題点や課題を発見し、既存の枠にとらわれず、新しい発想やアイデアを出す(全学科)

6-(4)現状を分析し、問..



6-(4)現状を分析し、問題点や課題を発見し、既存の枠にとらわれず、新しい発想やアイデアを出す(各学科)

卒業した学部・学科

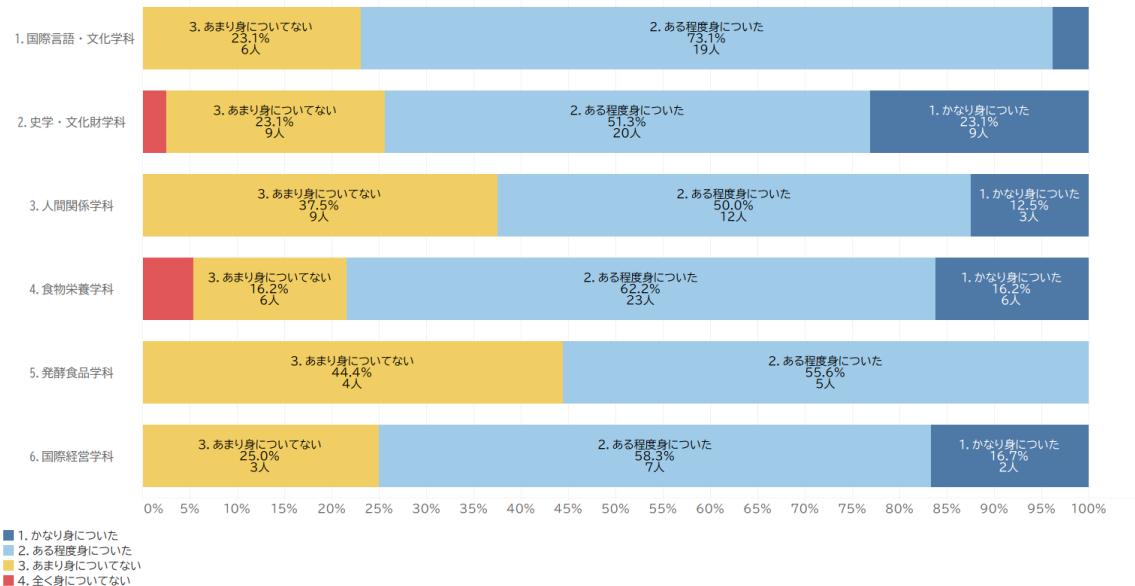


図 9.「(4)現状を分析し、問題点や課題を発見し、既存の枠にとらわれず、新しい発想やアイデアを出す」(147件の回答)の全学科集計及び各学科集計

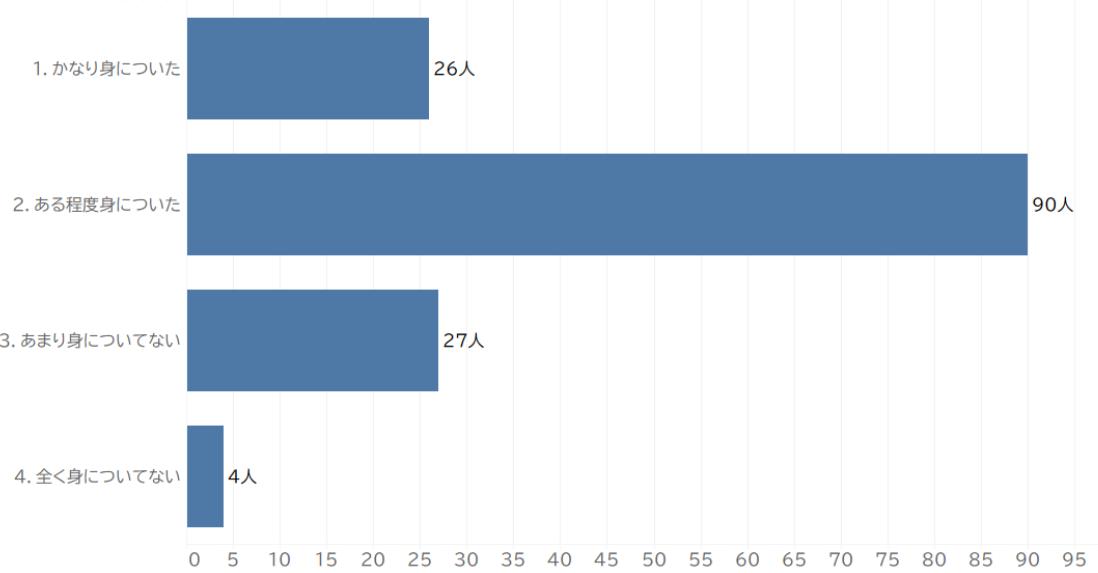
「(4)現状を分析し、問題点や課題を発見し、既存の枠にとらわれず、新しい発想やアイデアを出す」については、多くの学科で「ある程度身についた」が最多を占め、半数以上の学生が自分に一定の力があると認識していることがうかがえる。

「かなり身についた」と答える割合は比較的低く、強い自信を持っている層は少数である。

一方、「あまり身についていない」との回答が2割以上見られる学科が多く、他のスキル領域よりも習得感にはらつきがある。

「(5)ものごとを批判的・多面的に考え、筋道を立てて論理的に文章化する、あるいは問題を解決する」(DP:思考力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 10 に示した。

6-(5)ものごとを批判的・多面的に考え、筋道を立てて論理的に文章化する、あるいは問題を解決する(全学科)
6-(5)ものごとを批判的..



6-(5)ものごとを批判的・多面的に考え、筋道を立てて論理的に文章化する、あるいは問題を解決する(各学科)

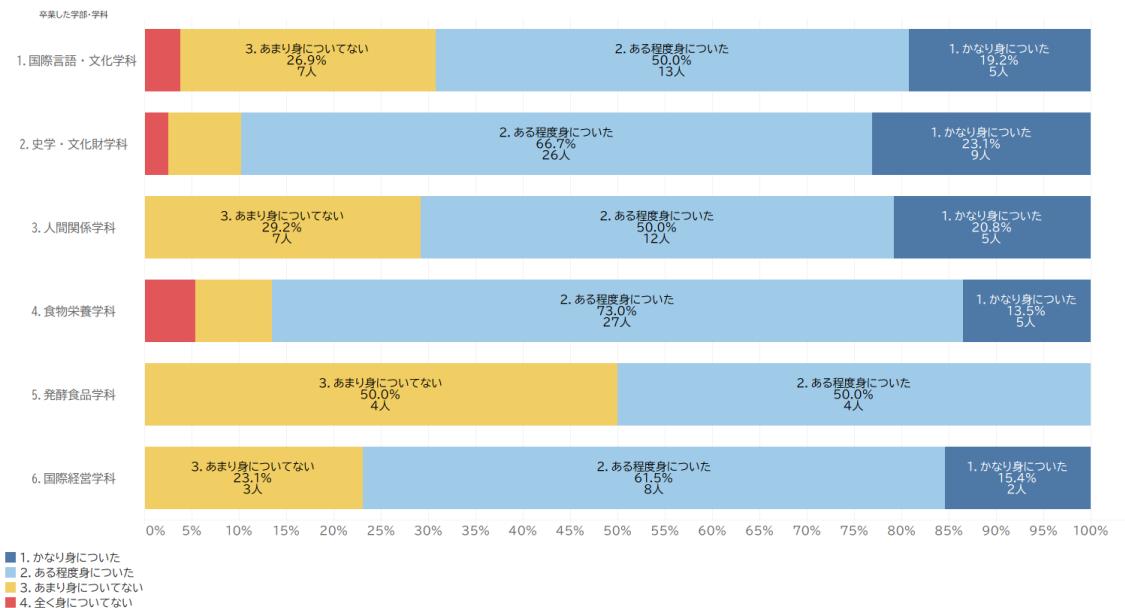


図 11.「(5)ものごとを批判的・多面的に考え、筋道を立てて論理的に文章化する、あるいは問題を解決する」(147 件の回答)の全学科集計及び各学科集計

「(5)ものごとを批判的・多面的に考え、筋道を立てて論理的に文章化する、あるいは問題を解決する」については、「ある程度身についた」が最多で、どの学科も 5~7 割程度を占めている。

「かなり身についた」は各学科で 1~2 割程度と比較的少なく、論理的思考・問題解決力に強い自信を持っている卒業生は限られている。

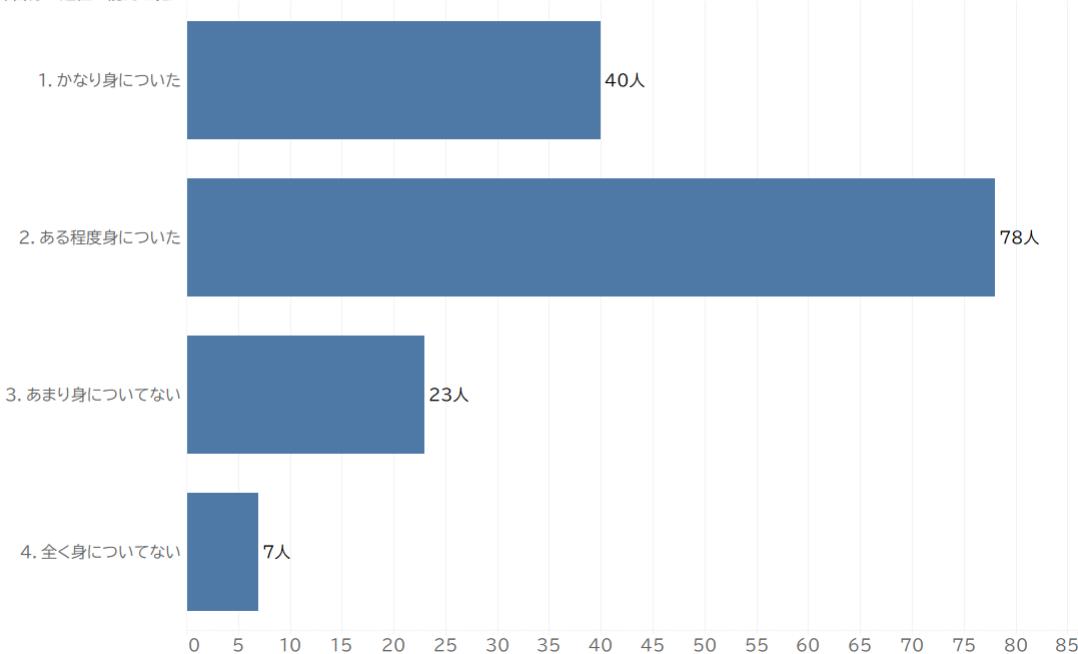
「あまり身についていない」と回答する割合も各学科で 2~5 割程度存在し、各学科で差が大きい。

「(6)自分の適性や能力を把握し、自分の感情を上手にコントロールする、あるいは自分に自信

や肯定感をもつ」(DP:実行力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 11 に示した。

6-(6)自分の適性や能力を把握し、自分の感情を上手にコントロールする、あるいは自分に自信や肯定感をもつ(全学科)

6-(6)自分の適性や能力を把..



6-(6)自分の適性や能力を把握し、自分の感情を上手にコントロールする、あるいは自分に自信や肯定感をもつ(各学科)

卒業した学部・学科

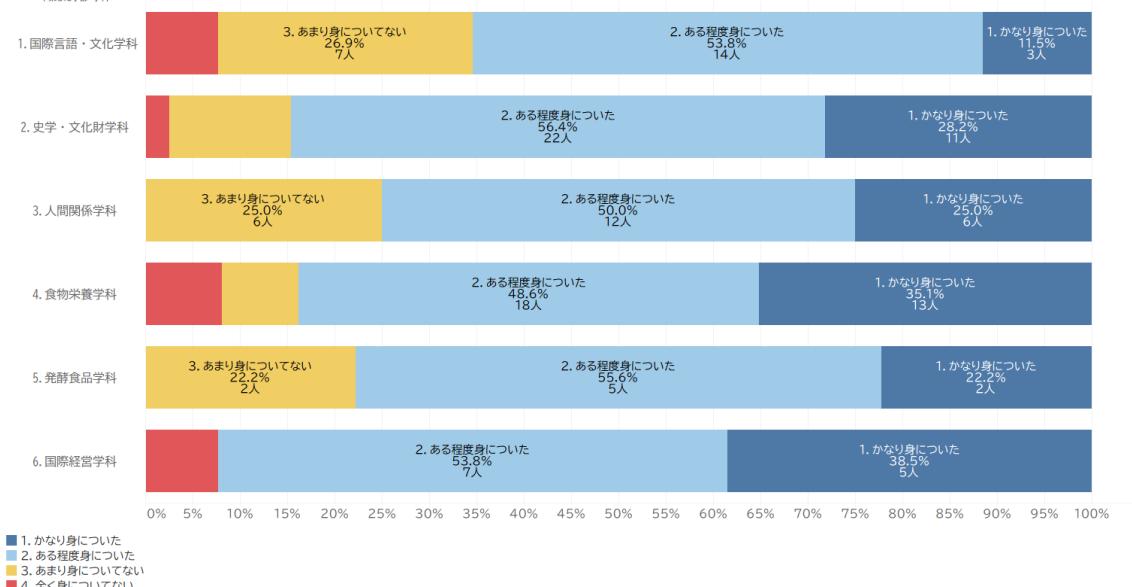


図 12.「(6)自分の適性や能力を把握し、自分の感情を上手にコントロールする、あるいは自分に自信や肯定感をもつ」(148 件の回答)の全学科集計及び各学科集計

「(6)自分の適性や能力を把握し、自分の感情を上手にコントロールする、あるいは自分に自信や肯定感をもつ」については、「ある程度身についた」と回答した割合が最多で、ほぼ全学科で 5 割前後を占めている。

「かなり身についた」と答えた割合も一定数あり、自己認識や感情コントロールに関してポジティブな評価が多い。

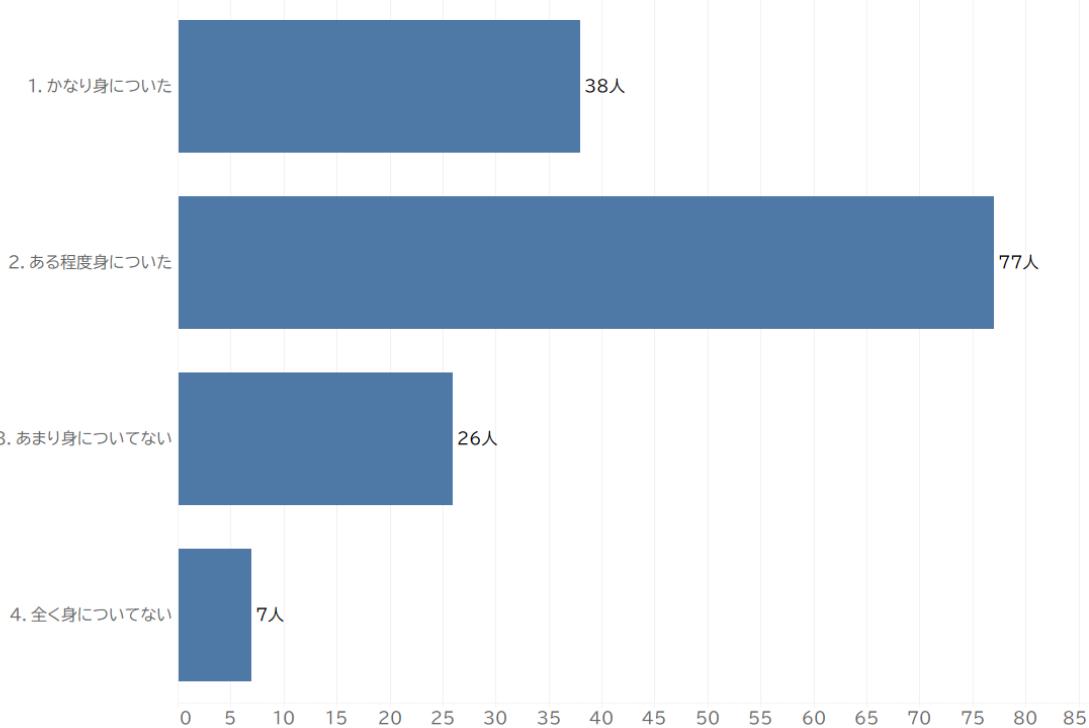
一方で、「あまり身についていない」と答えた学生も 2 割前後おり、学科による差がやや見

られる。

「(7)自分で目標を設定し、計画的に行動する」(DP:実行力)の全学科集計及び各学科集計した結果を図12に示した。

6-(7)自分で目標を設定し、計画的に行動する(全学科)

6-(7)自分で目標を設定し、..



6-(7)自分で目標を設定し、計画的に行動する(各学科)

卒業した学部・学科

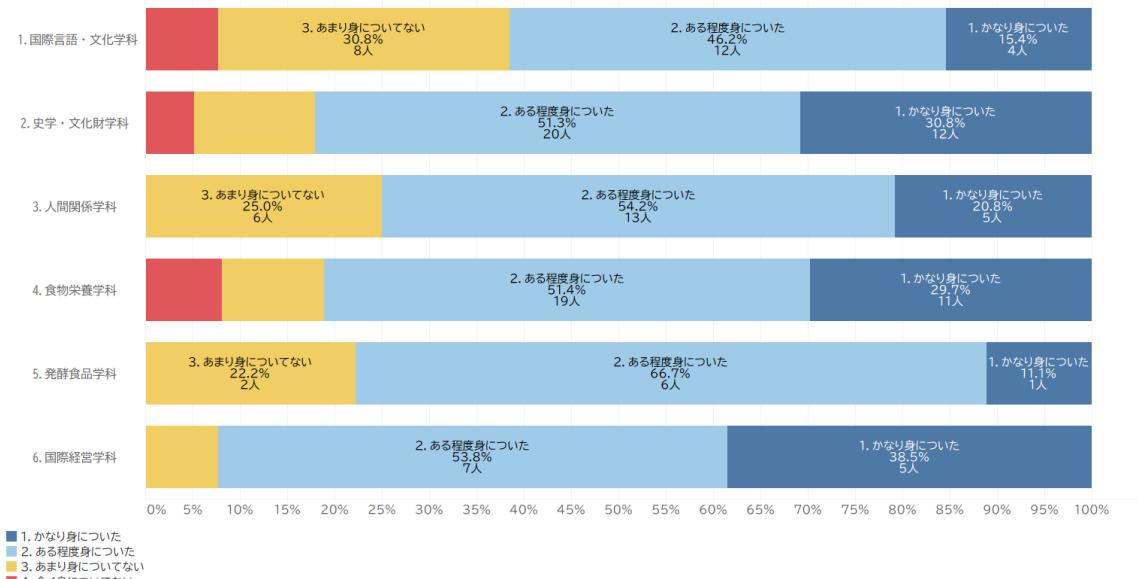


図12.「(7)自分で目標を設定し、計画的に行動する」(148件の回答)の全学科集計及び各学科集計

「(7)自分で目標を設定し、計画的に行動する」については、「ある程度身についた」が最多(約5割前後)で、どの学科も中心層となっている。

「かなり身についた」と回答する学生も2~3割前後存在しており、一定の肯定的回答が見ら

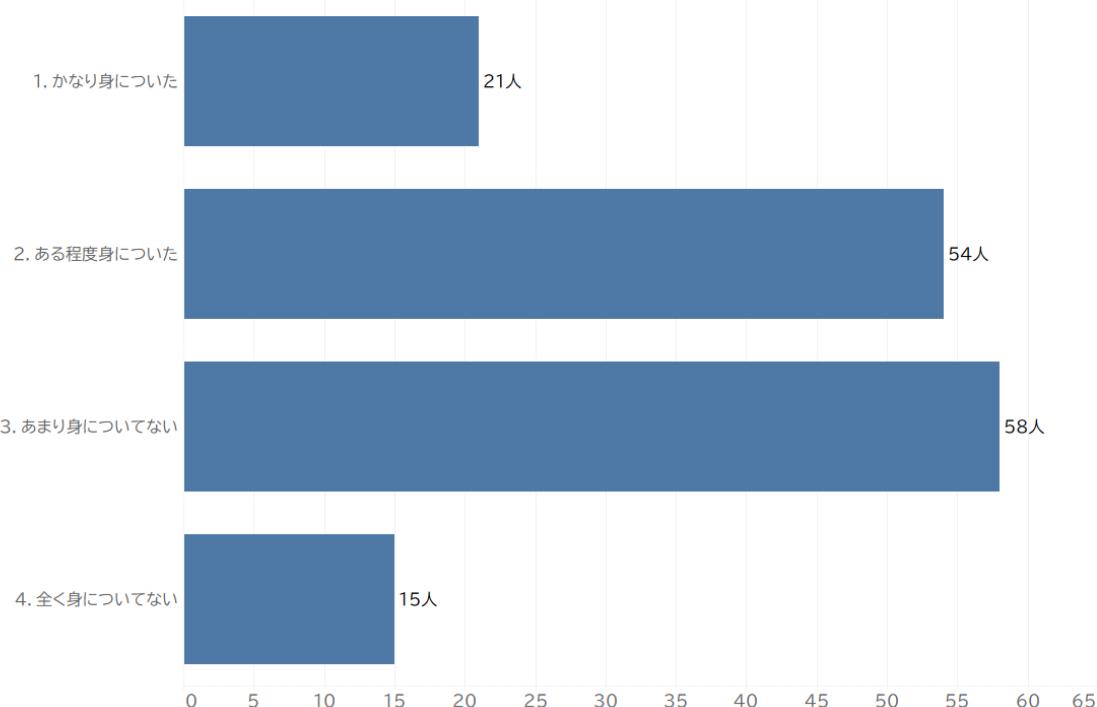
れる。

一方で「あまり身についていない」とする回答も2割以上ある学科が複数あり、個人差や学科間の差が顕著に表れている。

「(8)自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる」(DP:実行力)の全体集計及び各学科集計した結果を図13に示した。

6-(8)自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる(全学科)

6-(8)自ら先頭に立って行..



6-(8)自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる(各学科)

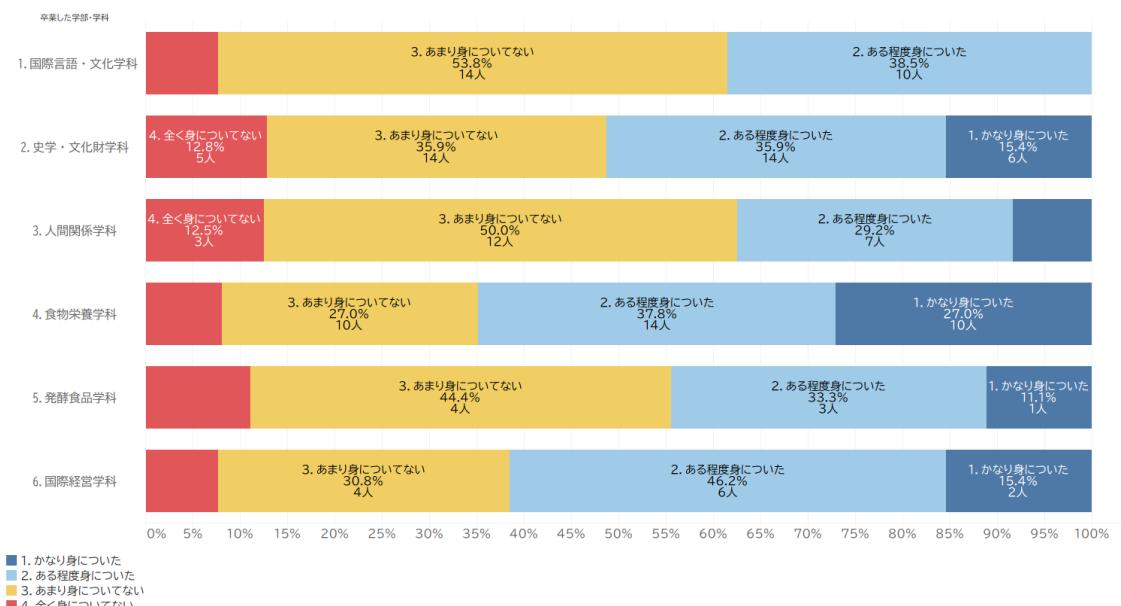


図13.「(8)自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる」(148件の回答)の全学科集計及び各学科集計

「(8)自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる」については、「ある程度身についた」よりも「身

についていない」側に回答が偏っている。

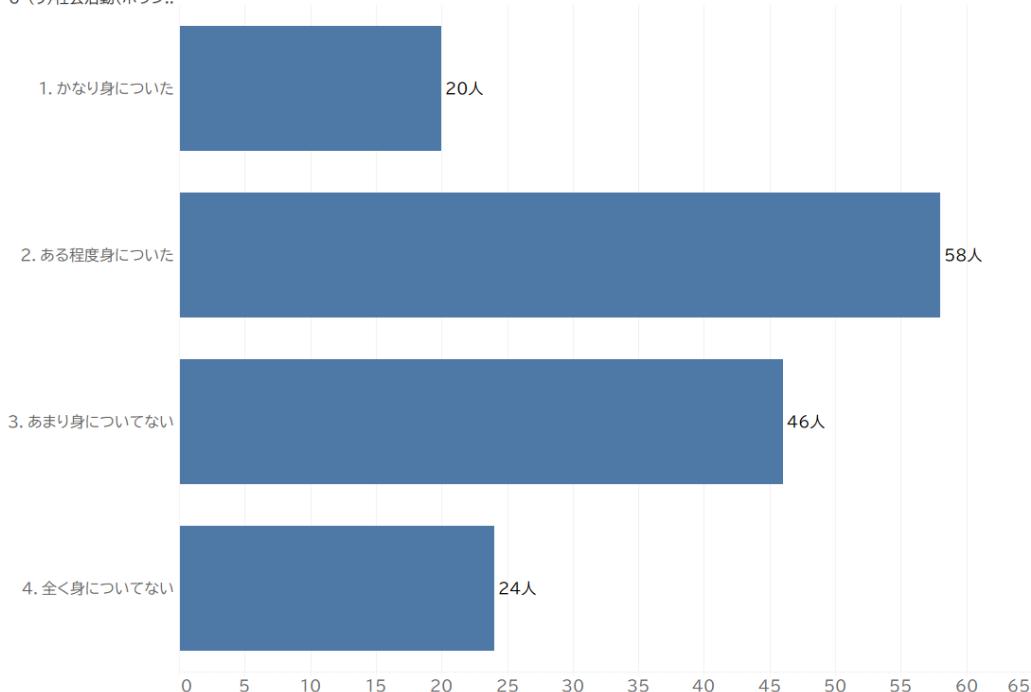
「あまり身についていない」が多く、学科によっては過半数近くに達しており、リーダーシップ的役割には課題が残っていることが示唆される。

一方で、特定の学科(食物栄養学科や史学・文化財学科)では「かなり身についた」と答える学生も一定数存在し、学科による差が顕著。

「(9)社会活動(ボランティア、NPO活動などを含む)に積極的に参加する」(DP:実行力)の全体集計及び各学科集計した結果を図14に示した。

6-(9)社会活動(ボランティア、NPO活動などを含む)に積極的に参加する(全学科)

6-(9)社会活動(ボラン..



6-(9)社会活動(ボランティア、NPO活動などを含む)に積極的に参加する(各学科)

卒業した学部・学科

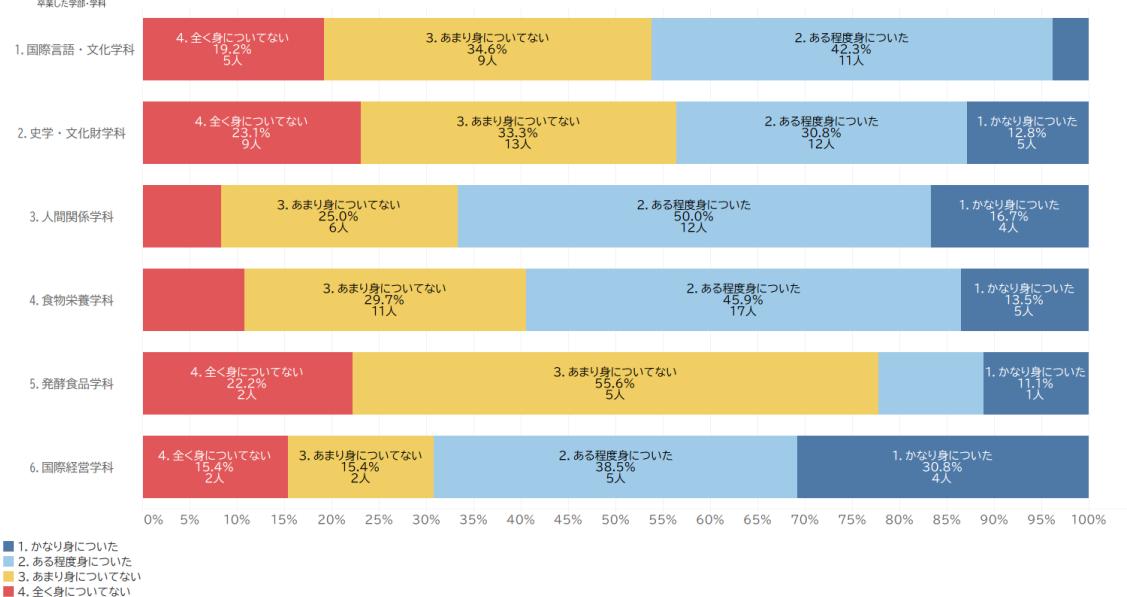


図14.「(9)社会活動(ボランティア、NPO活動などを含む)(148件の回答)に積極的に参加する」の全学科集計及び各学

科集計

「(9)社会活動(ボランティア、NPO活動などを含む)に積極的に参加する」については、「ある程度身についた」割合が最多で、学科によっては4~5割前後を占める。

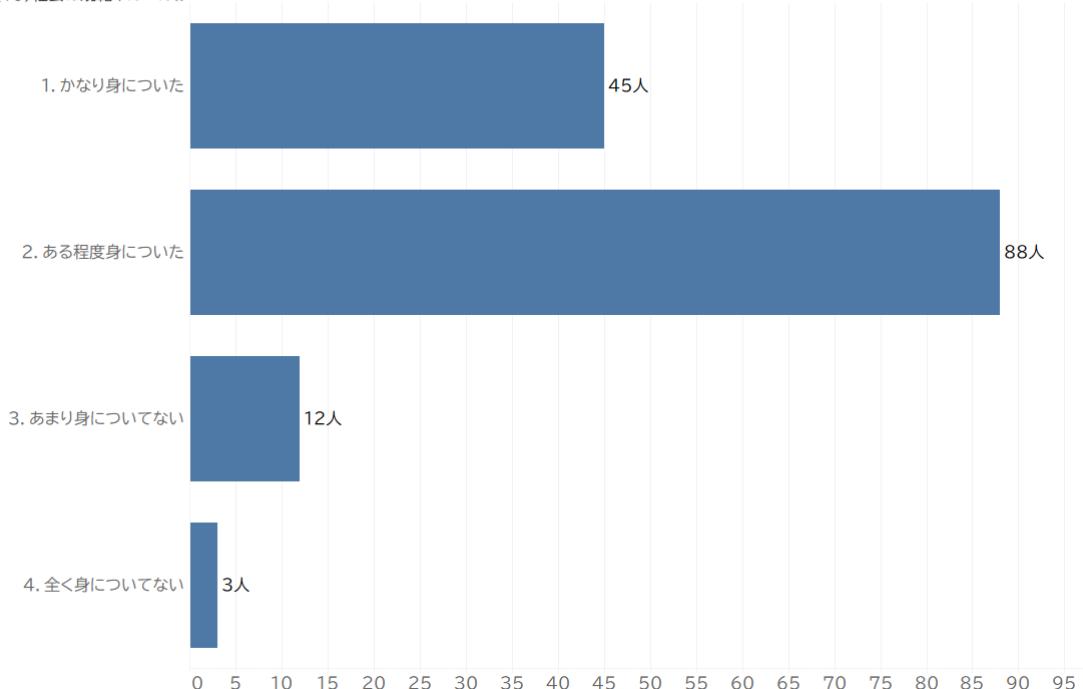
ただし「全く身についていない」「あまり身についていない」とする否定的回答も多く、学科差や個人差が大きい領域である。

「かなり身についた」と答えた学生は少数派で、社会活動への主体的関与は限定的といえる。

「(10)社会の規範やルールにしたがって行動し、人と協力しながらものごとを進める」(DP:実力)の全体集計及び各学科集計した結果を図16に示した。

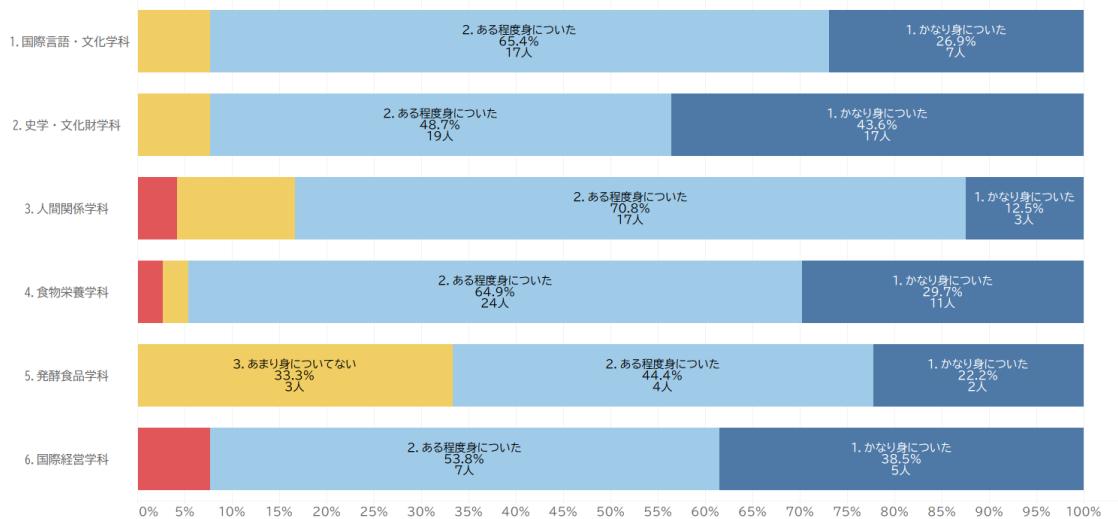
6-(10)社会の規範やルールにしたがって行動し、人と協力しながらものごとを進める(全学科)

6-(10)社会の規範やルール..



6-(10)社会の規範やルールにしたがって行動し、人と協力しながらものごとを進める(各学科)

卒業した学部・学科



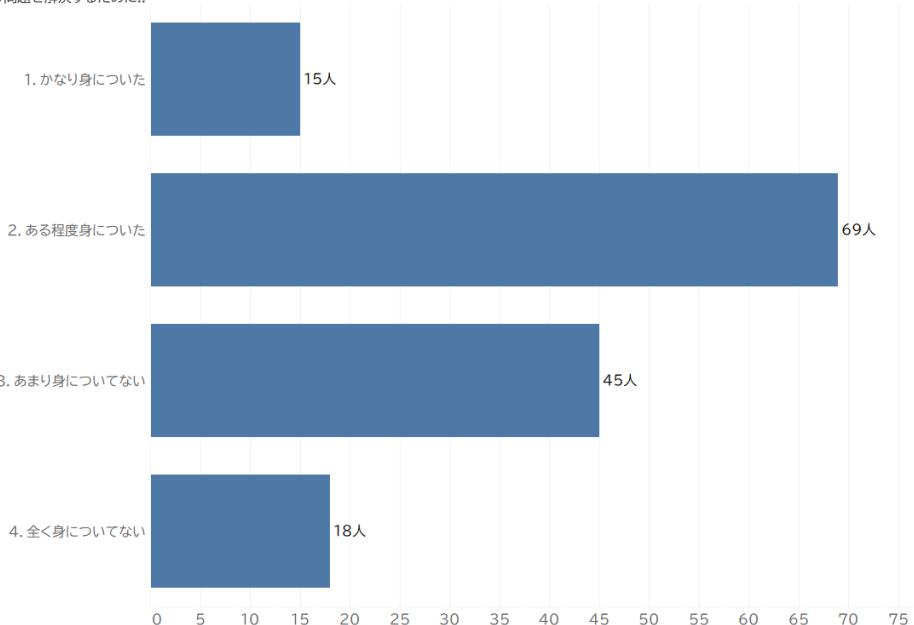
■ 1.かなり身についた
■ 2.ある程度身についた
■ 3.あまり身についてない
■ 4.全く身についてない

図 15.「(10)社会の規範やルールにしたがって行動し、人と協力しながらものごとを進める」(148 件の回答)の全学科集計及び各学科集計

「(10)社会の規範やルールにしたがって行動し、人と協力しながらものごとを進める」については、どの学科でも「ある程度身についた」が中心で、加えて「かなり身についた」も一定数存在する。「あまり」「全く」といった否定的回答は少なく、協調性や規範遵守に関しては多くの学生が自信を持っていることがうかがえる。

「(11)問題を解決するために、数式や図表・グラフを利用し、実験や調査を適切に計画・実施する」(DP:実行力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 16 に示した。

6-(11)問題を解決するために、数式や図表・グラフを利用し、実験や調査を適切に計画・実施する(全学科)
6-(11)問題を解決するために..



6-(11)問題を解決するために、数式や図表・グラフを利用し、実験や調査を適切に計画・実施する(各学科)

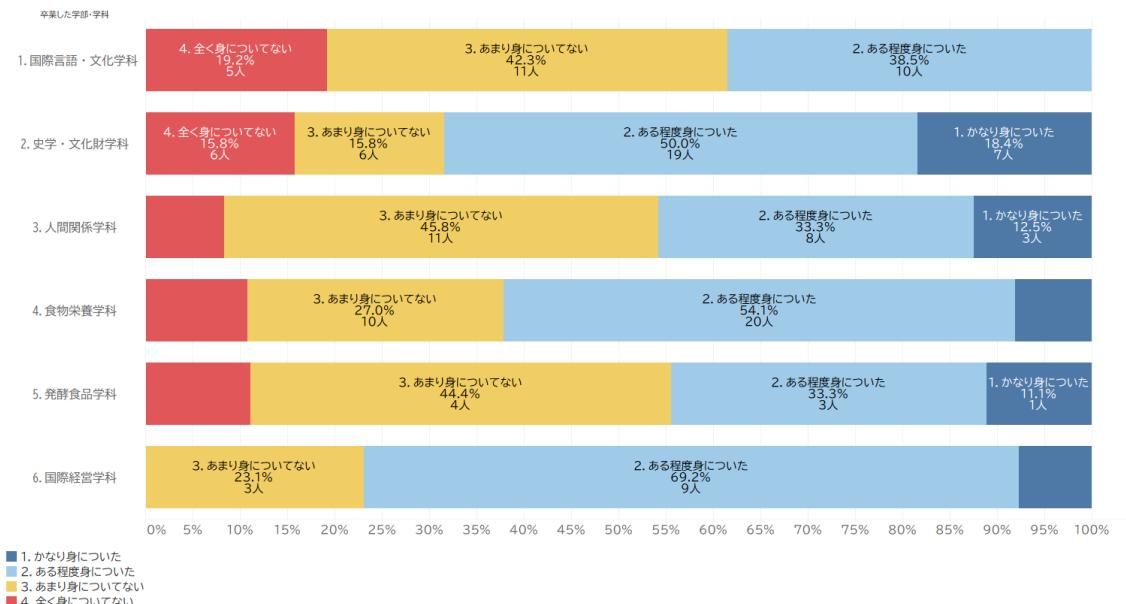


図 16.「(11)問題を解決するために、数式や図表・グラフを利用し、実験や調査を適切に計画・実施する」(147 件の回答)の全学科集計及び各学科集計

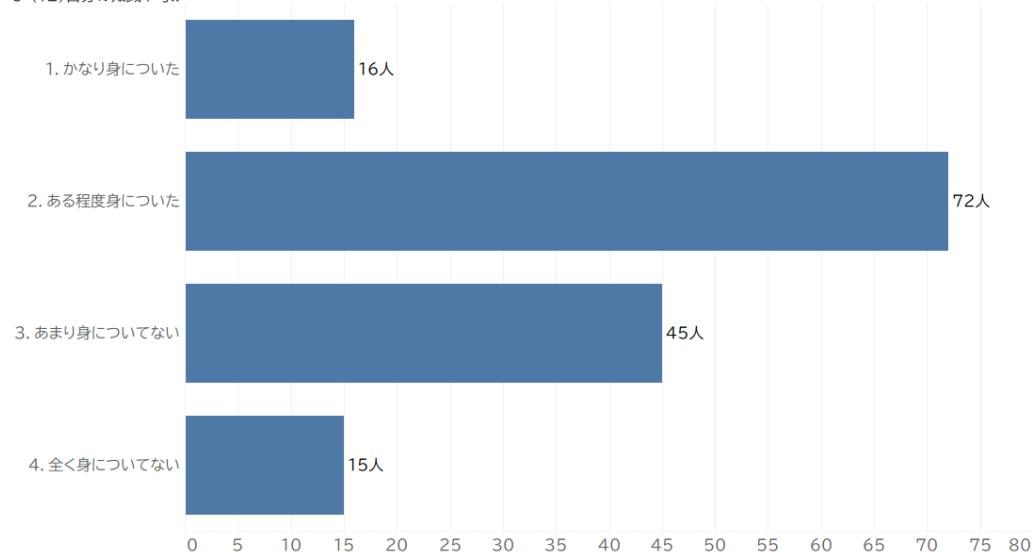
「(11)問題を解決するために、数式や図表・グラフを利用し、実験や調査を適切に計画・実施する」については、「ある程度身についた」が全体で多いものの、否定的回答が 3 割~6 割を占める学科もある。

食物栄養学科・国際経営学科)は比較的高めの評価、国際言語・文化学科、人間関係学科は低めの評価が目立つ。全体として、数理的・調査的なスキルの習得は理系学科や一部学科で強みがあるが、文系学科で大きな課題が見られる。

「(12)自分の知識や考えを図表や数字を用いて表現する」(DP:表現力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 17 に示した。

6-(12)自分の知識や考えを図表や数字を用いて表現する(全学科)

6-(12)自分の知識や考..



6-(12)自分の知識や考え方を図表や数字を用いて表現する(各学科)

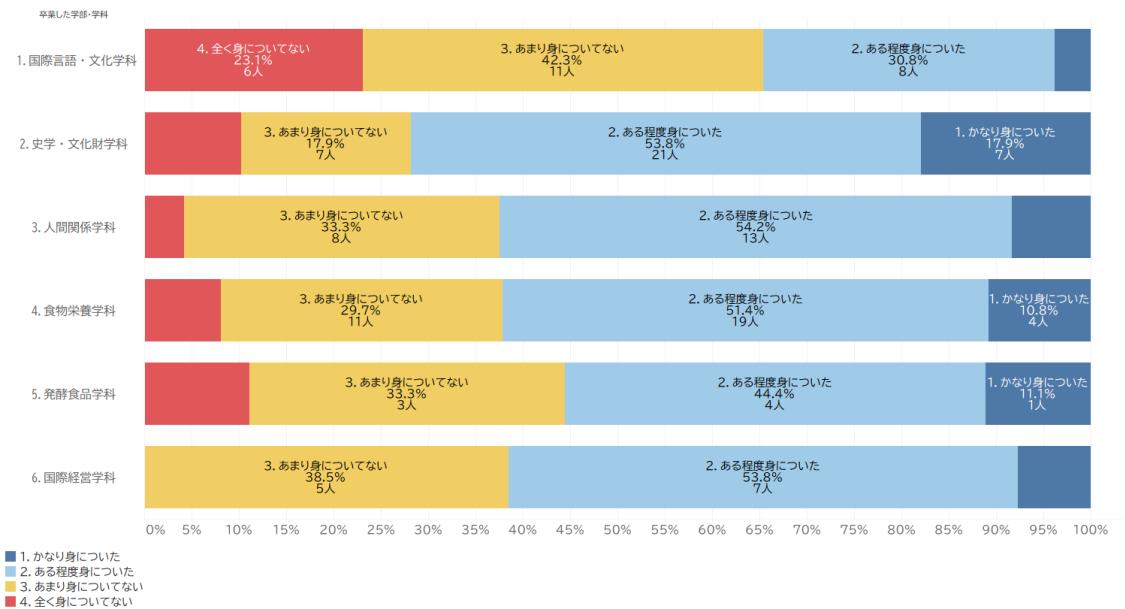


図 17.「(12)自分の知識や考え方を図表や数字を用いて表現する」(148 件の回答)の全学科集計及び各学科集計

「(12)自分の知識や考え方を図表や数字を用いて表現する」については、「ある程度身についた」が中心で、全学科で 5 割前後を占める。

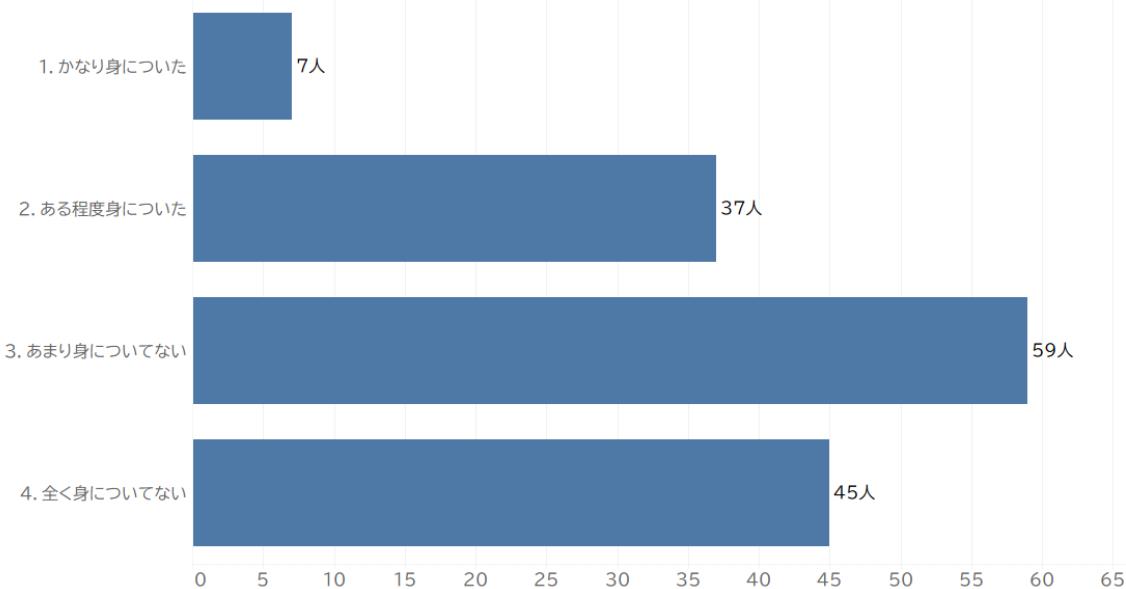
「かなり身についた」は少数(1 割程度)にとどまり、高いレベルで定着している学生は限られる。一方で「あまり」「全く」といった否定的回答も一定数あり、学科によっては 3 割~6 割近くが苦手意識を持っている。

全体として、図表や数値を使った表現力は十分に定着しておらず、学科間・個人間の差が顕著である。

「(13)外国語で読み、書き、聞き、話す」(DP:表現力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 18 に示した。

6-(13)外国語で読み、書き、聞き、話す(全学科)

6-(13)外国語で読み、..



6-(13)外国語で読み、書き、聞き、話す(各学科)

卒業した学部-学科

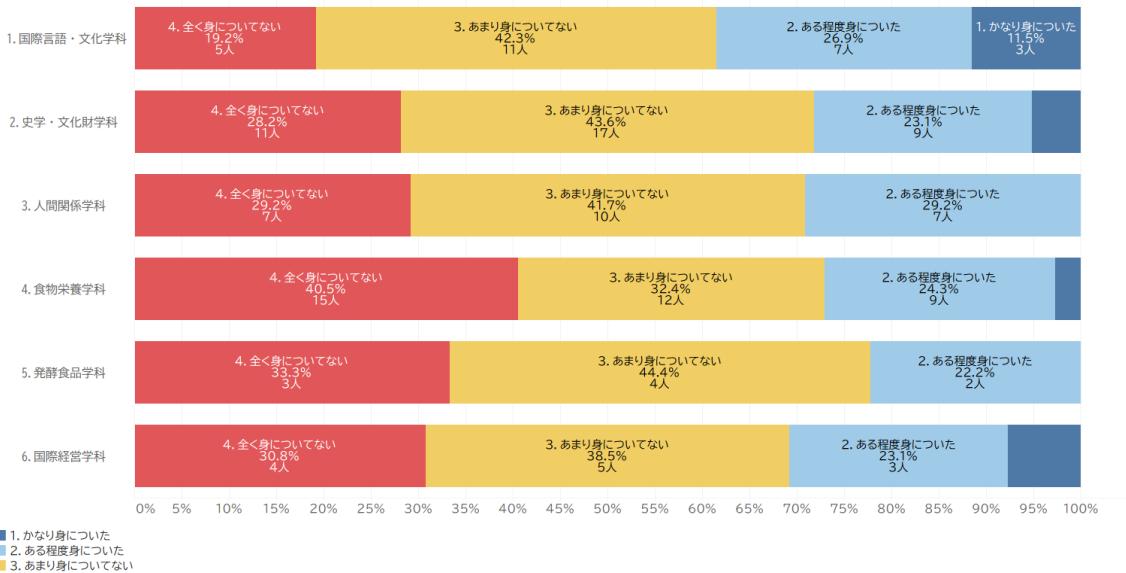


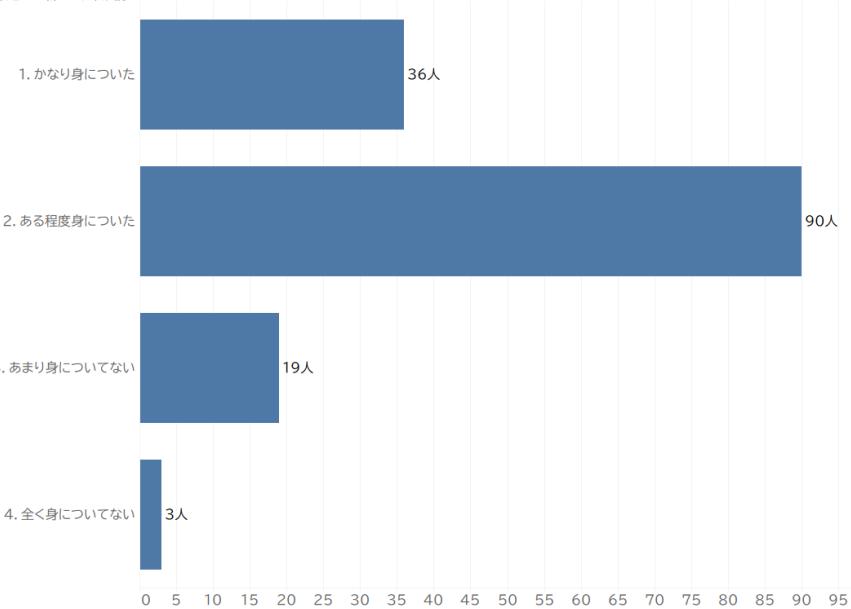
図 18.「(13)外国語で読み、書き、聞き、話す」(148 件の回答)の全学科集計及び各学科集計

「(13)外国語で読み、書き、聞き、話す」については、否定的回答が大半を占める。多くの学科で 6 割~8 割近くが「十分に身についていない」旨の回答をしている。「かなり身についた」と答えた学生はごく少数(1 割未満~1 割強程度)である。外国語運用能力の育成は全体的に課題が大きい分野といえる。

「(14)進んで新しい知識・能力を身につけようとする」(DP:情報力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 19 に示した。

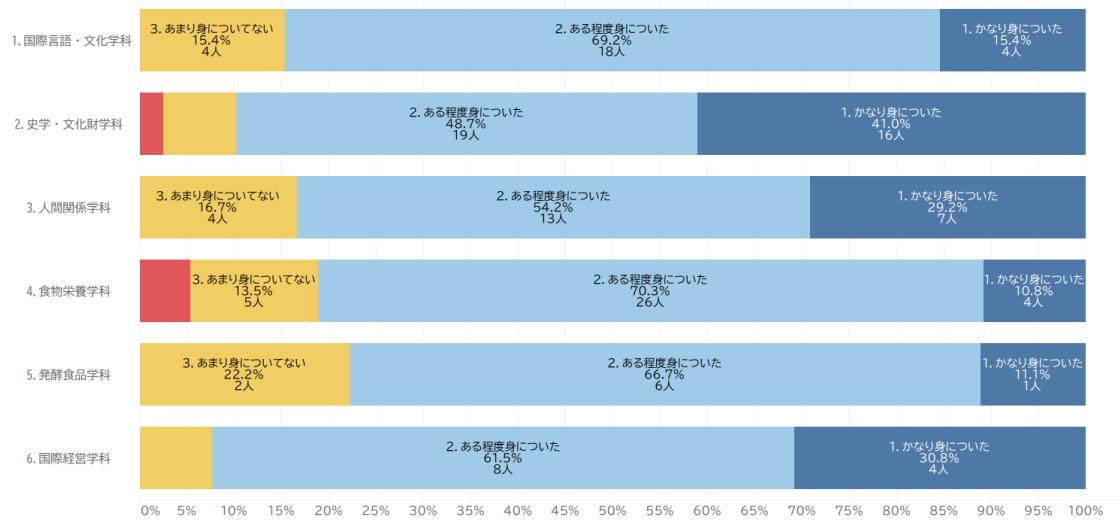
6-(14)進んで新しい知識・能力を身につけようとする(全学科)

6-(14)進んで新しい知識・能..



6-(14)進んで新しい知識・能力を身につけようとする(各学科)

卒業した学部-学科



■ 1.かなり身についた
■ 2.ある程度身についた
■ 3.あまり身についてない
■ 4.全く身についてない

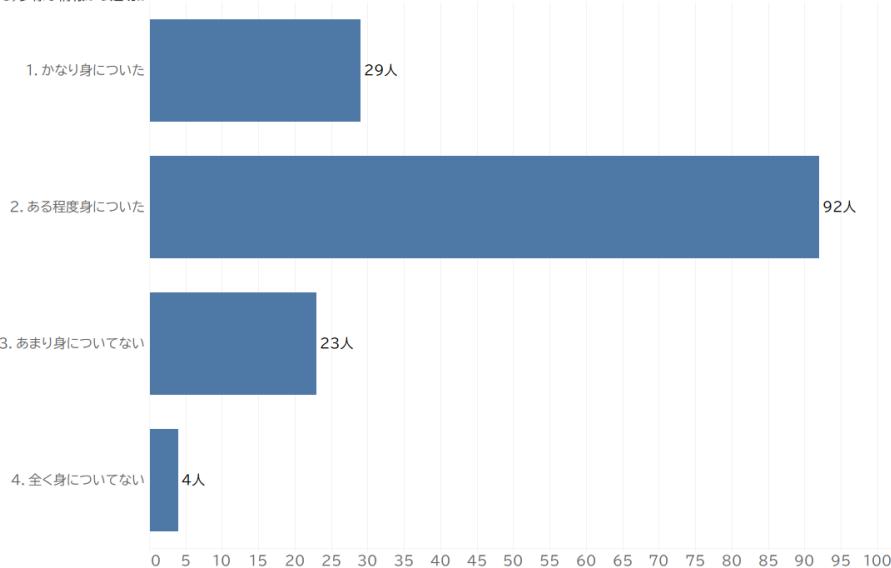
図 19.「(14)進んで新しい知識・能力を身につけようとする」(148 件の回答)の全学科集計及び各学科集計

「(14)進んで新しい知識・能力を身につけようとする」については、肯定的評価が非常に高い傾向になっている。多くの学科で「ある程度身についた」が最多を占め(6割前後~7割)、さらに「かなり身についた」も2~4割程度で加わる。「あまり身についていない」は各学科1~2割程度にとどまり、「全く身についていない」はほぼゼロに近い。この項目は他のスキルに比べても最もポジティブに評価された領域であり、大学教育全体として「主体的な学びの態度」をしっかり育成できていることが示されている。

「(15)多様な情報から適切な情報を取捨選択し、文献や資料にある情報を正しく理解する」(DP:情報力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 20 に示した。

6-(15)多様な情報から適切な情報を取捨選択し、文献や資料にある情報を正しく理解する(全学科)

6-(15)多様な情報から適切..



6-(15)多様な情報から適切な情報を取捨選択し、文献や資料にある情報を正しく理解する(各学科)

卒業した学部・学科

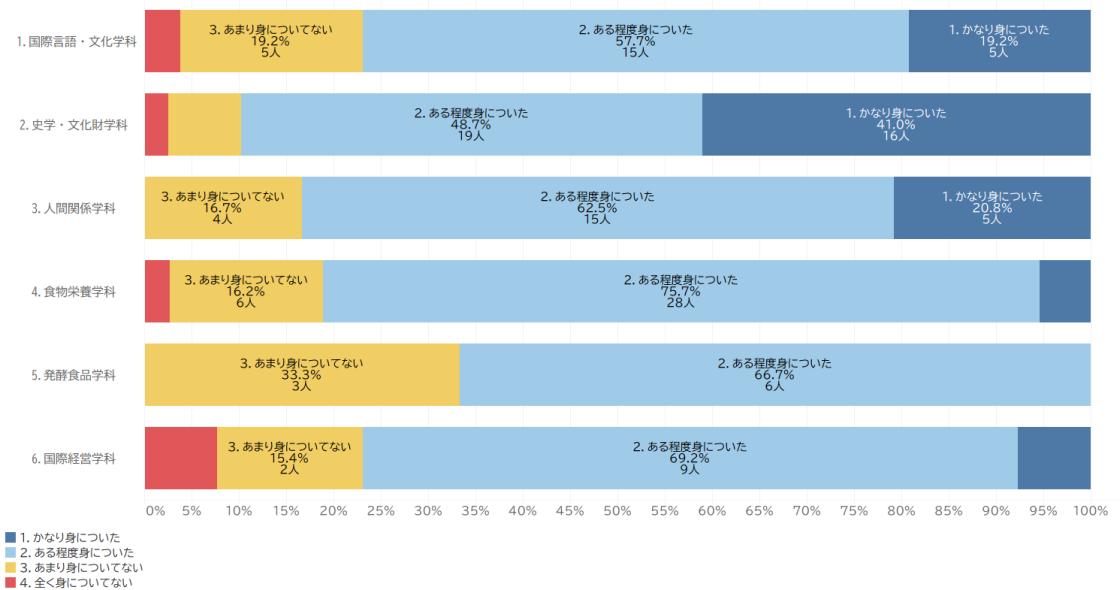


図 20.「(15)多様な情報から適切な情報を取捨選択し、文献や資料にある情報を正しく理解する」(148 件の回答)の全学科集計及び各学科集計

「(15)多様な情報から適切な情報を取捨選択し、文献や資料にある情報を正しく理解する」については、「ある程度身についた」が圧倒的多数を占める(5割~7割超)。

「かなり身についた」も2割前後存在し、肯定的評価が非常に高い。

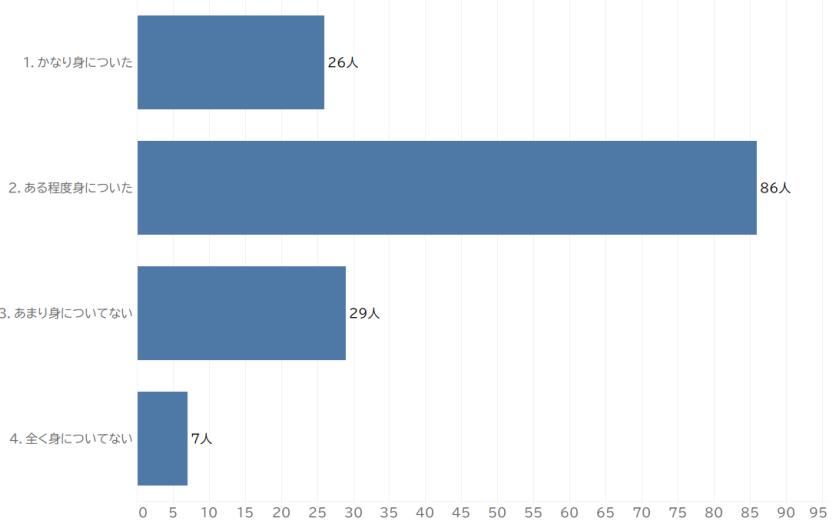
「あまり身についていない」は1~3割程度にとどまり、「全く身についていない」はほぼ見られない。

情報リテラシー・資料理解の力は、全体的に良好に身についている分野といえる。

「(16)コンピュータを使ってデータの作成・整理・分析する、文書・発表資料を作成し表現する」(DP:情報力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 21 に示した。

6-(16)コンピュータを使ってデータの作成・整理・分析する、文書・発表資料を作成し表現する(全学科)

6-(16)コンピュータを使つ..



6-(16)コンピュータを使ってデータの作成・整理・分析する、文書・発表資料を作成し表現する(各学科)

卒業した学部・学科

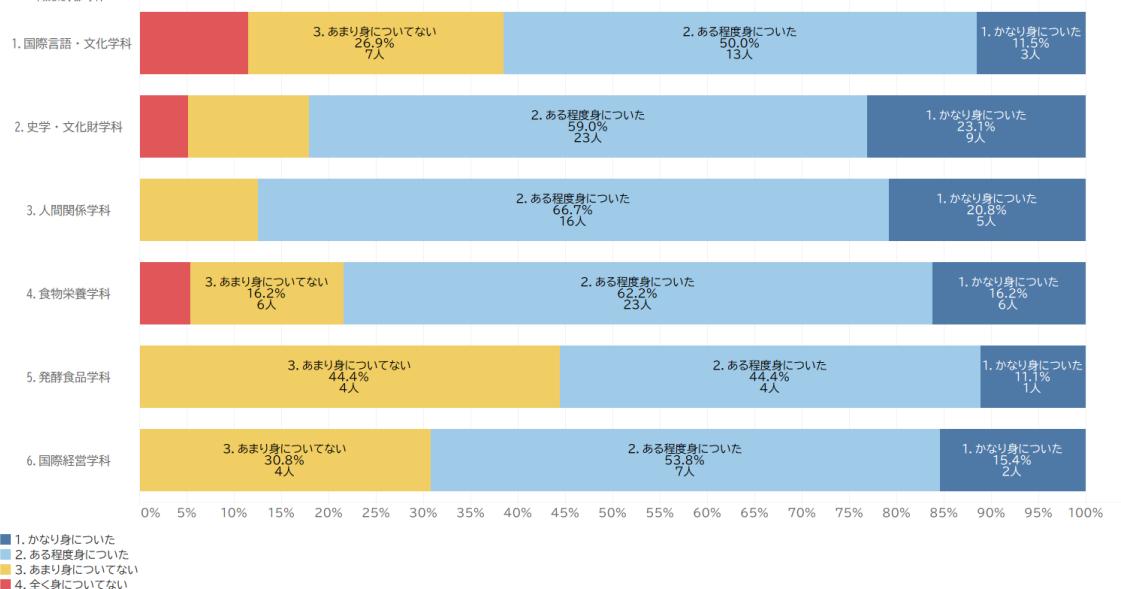


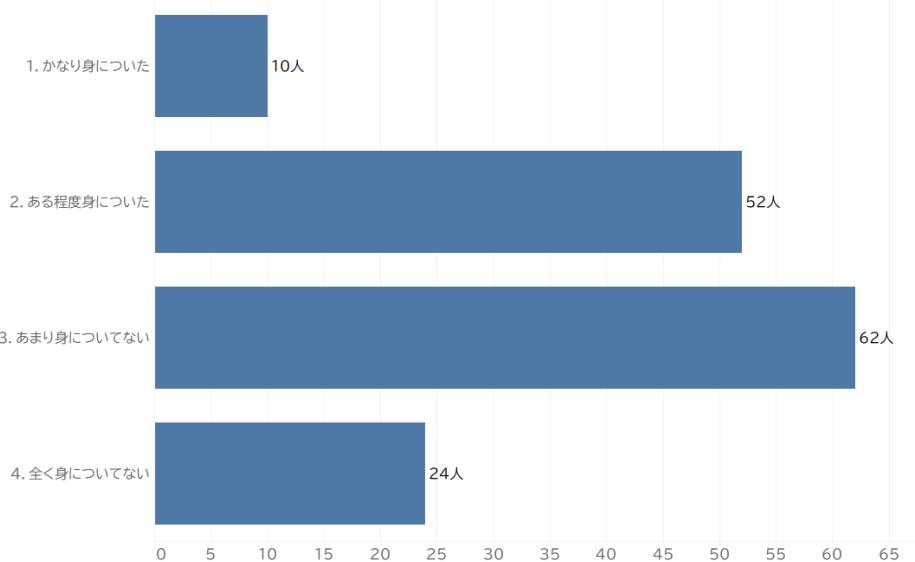
図 21.「(16)コンピュータを使ってデータの作成・整理・分析する、文書・発表資料を作成し表現する」(148 件の回答)の全学科集計及び各学科集計

「(16)コンピュータを使ってデータの作成・整理・分析する、文書・発表資料を作成し表現する」については、「ある程度身についた」の回答が最多(5割~7割程度)で全体をリードしている。「かなり身についた」も1~2割前後存在し、肯定的評価が多数派を占めている。一方で「あまり身についていない」も2割前後あり、学科による差や個人差が顕著に出て分野とも言える。

「(17)国際的な視野」(DP:情報力)の全学科集計及び各学科集計した結果を図 22 に示した。

6-(17)国際的な視野(全学科)

6-(17)国際的な視野



6-(17)国際的な視野(各学科)

卒業した学部・学科

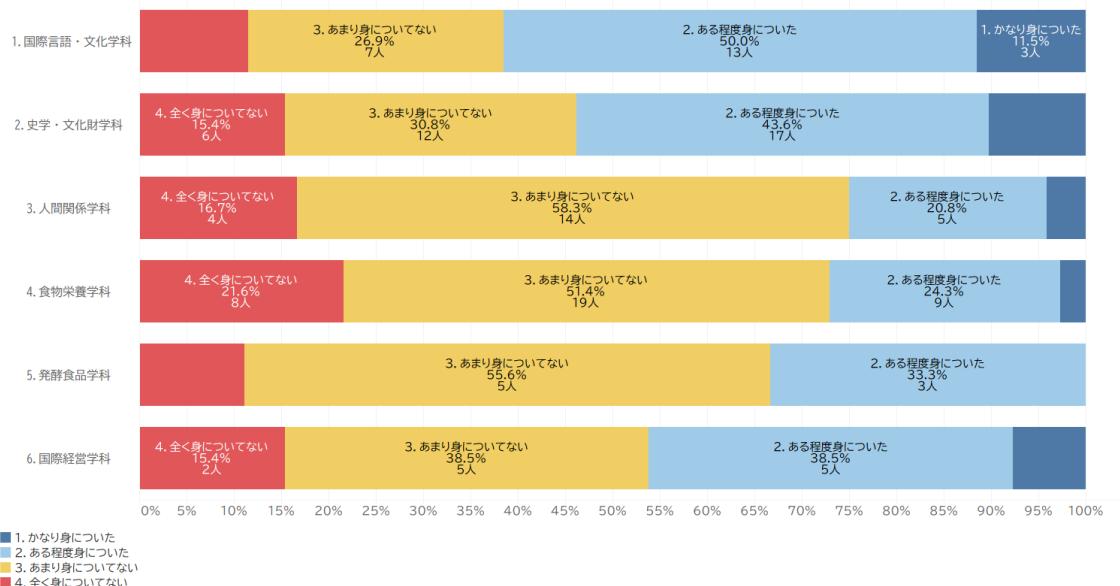


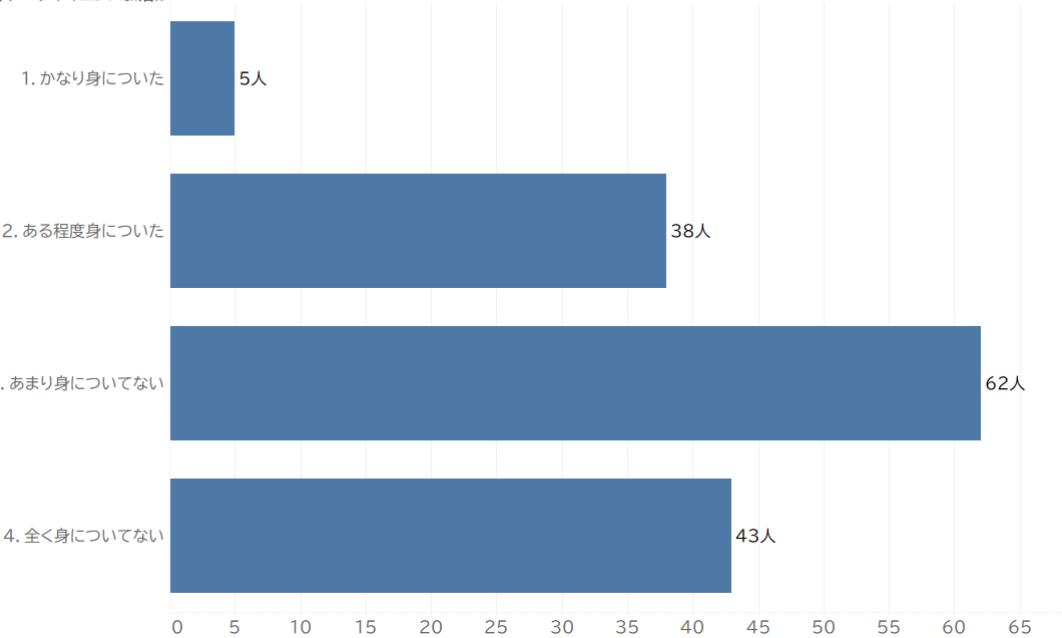
図 22.「(17)国際的な視野」(148 件の回答)の全学科集計及び各学科集計

「(17)国際的な視野」については、「ある程度身についた」の回答層が一定数いる一方で、「あまり」「全く」と答える否定的評価が多い。特に「かなり身についた」と答えた割合は低く(1割前後からそれ以下)、国際的視野の育成は全体的に課題が大きい。

「(18)データサイエンス AI 活用能力」の全体集計及び各学科集計した結果を図 23 に示した。

6-(18)データサイエンスAI活用能力(全学科)

6-(18)データサイエンスAI活用能力(全学科)



6-(18)データサイエンスAI活用能力(各学科)

卒業した学部・学科

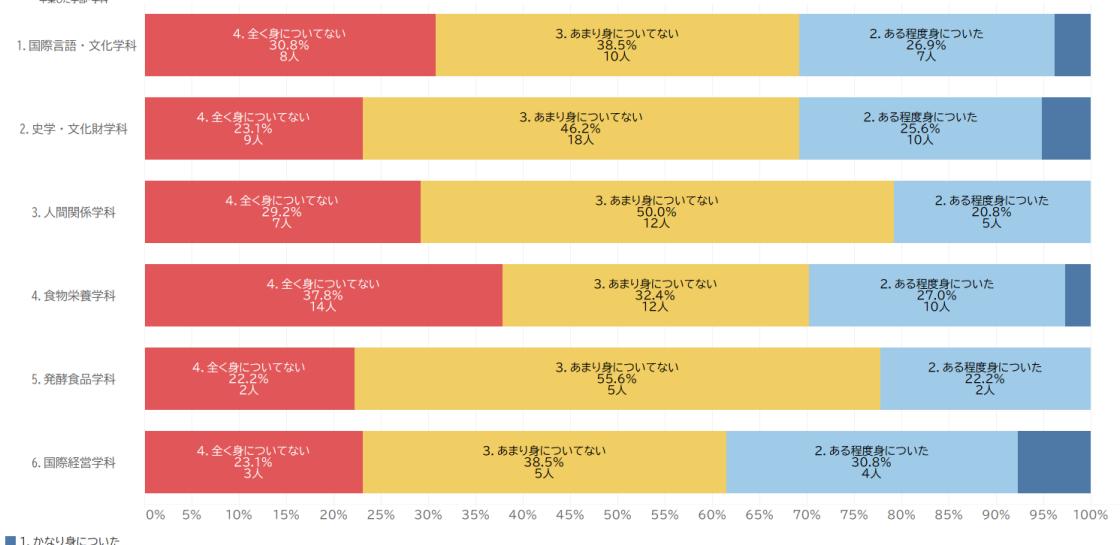


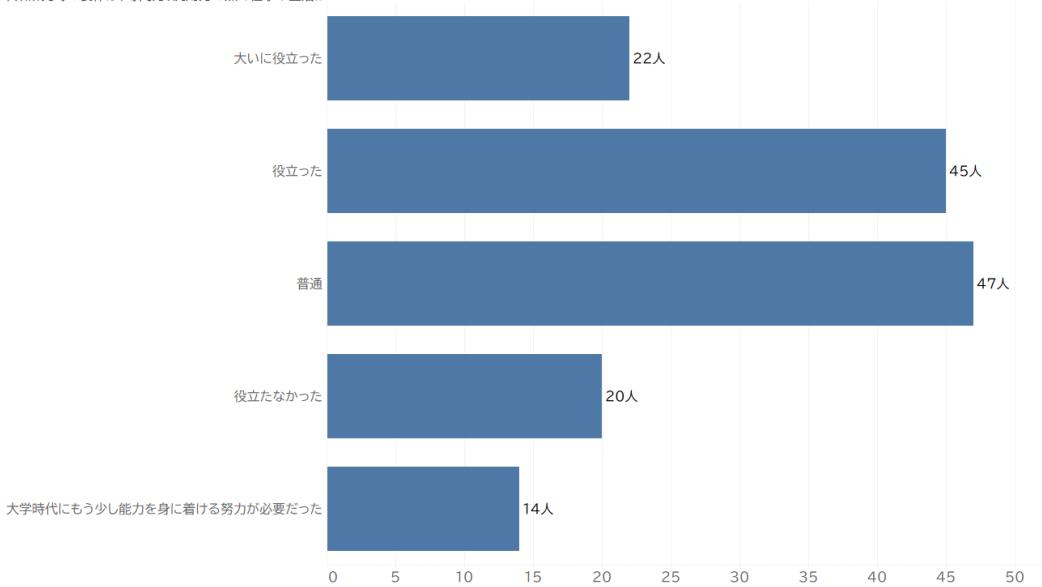
図 23.「(18)データサイエンス AI 活用能力」の全学科集計及び各学科集計

「(18)データサイエンス AI 活用能力」については、否定的回答(「あまり」「全く」)が多数を占める。多くの学科で 6~8 割近くが「身についていない」と回答している。「ある程度身についた」と答えた割合は 2~3 割前後にとどまり、「かなり身についた」はほぼゼロに近い。データサイエンスや AI 活用は、全体として習得が不十分である分野といえる。

「(7. 卒業論文、卒業研究時の制作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか。」の全体集計及び各学科集計した結果を図 24 に示した。

7. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか。(全学科)

7. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活..



7. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか。(各学科)

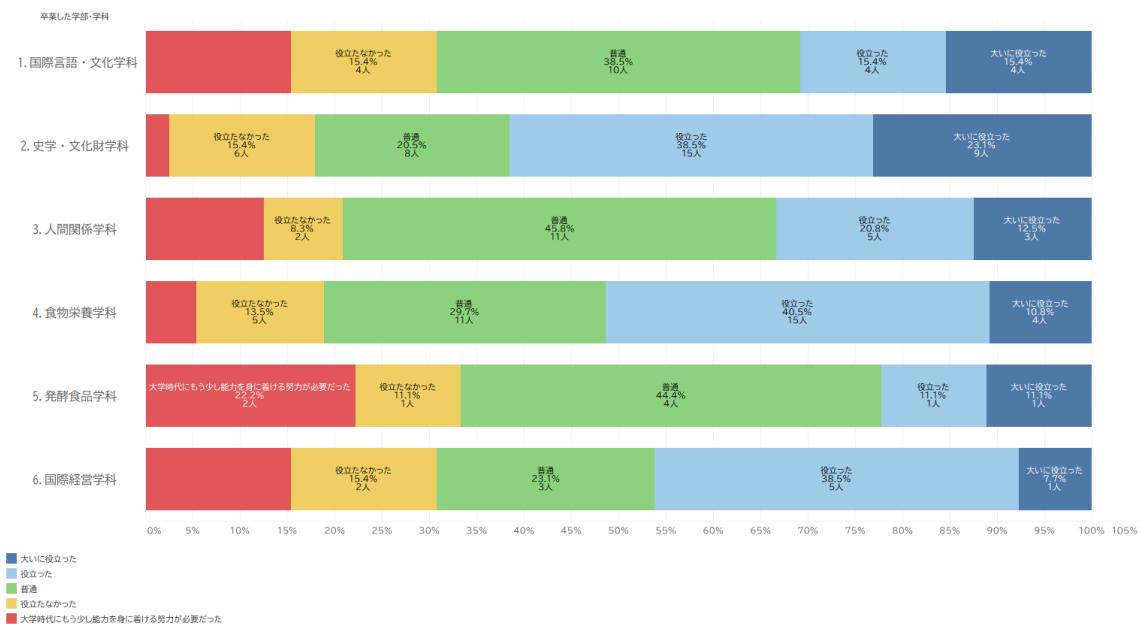


図 24.「7. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか」(148 件の回答)の全学科集計及び各学科集計

「(7. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか。)」については、多くの学科で「普通」～「役立った」の回答が中心である。

「大いに役立った」と答えた割合は学科によって差があり、2 割強の学科もあれば 1 割程度にとどまる学科もある。「役立たなかった」「もっと努力が必要だった」とする否定的回答も一定数存在し、学科ごとの差が大きい。

考 察

令和7年度のアンケートは、2018、2020、2022年度の卒業生 1087人を対象に実施した。回答総数は 150件を分析対象とした。回答率は 13.7%と、昨年度の 13.6%に比べわずかに改善が見られたが、回答率は依然として低く、学修成果やディプロマ・ポリシー(DP)達成度を学科別に比較するには、十分な標本数を得られなかった。しかし、本学学生の卒業後の意識や動向を把握する意味では貴重なデータであり、今後は回答率の改善に向けて創意工夫を凝らしながらアンケートを継続していくことが重要だと考える。

内訳についてはまず、「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか」の問い合わせに対して、「大変満足している」、または「満足している」の比率が最も高かったのが、人間関係学科の84%で、次いで史学・文化財学科(80%)、国際経営学科(77%)、食物栄養学科(67.6%)、国際言語・文化学科(65.3%)、発酵食品学科(62.5%)の順だった。

次に「2.別府大学で学んだところで良かったところを 1 位から 3 位まで回答してください。」では、1 位には資格の取得、2 位に授業の内容、3 位にゼミが選ばれた。1 位～3 位で最も選ばれた項目を高い順にあげると授業の内容、ゼミ、資格の取得が上位3位に入った。授業の内容、ゼミが上位になった背景として、先生方が学生に寄り添った授業・ゼミを行っていることがあると推察できる。別府大学のウリにもなっている「教員と学生との距離が近い」ことを示すものとして注目したい。また、資格の取得も上位だったことについては、本学の教育内容とそれに付随した様々な免許・資格を取得できる教育プログラムが卒業生に評価されているものと考えていよいだろう。

また、「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか。1 位から 3 位まで回答してください。」では、1 位に断トツで専門知識(69人)を挙げた者が多かった。2 位には教養、多様性の理解、コミュニケーション力が同数(18人)で入った。コミュニケーション力、教養・多様性の理解や自己管理力などの知識・能力は大学の教育のみならずアルバイトやサークル活動等を含めた学生生活全般を通じて培われたものと思われる。またアクティブラーニング型や PBL 型授業の導入、教養教育が一定の効果をあげていることも背景にあると判断できる。

「4. 就職してから社会人として必要と思われる知識・能力はどのようなことですか。1 位～3 位まで回答してください。」では、コミュニケーション力を 1 位にあげた卒業生が74人と圧倒的に多く、2 位に協調性(15人)だったが、この事実を現役の学生にしっかり認識してもらい、学生の時からしっかり身に付けるべく授業やサークル活動、アルバイトなどに臨むよう指導する必要性を感じた。

「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか」という質問については、「希望通り」、または「ある程度希望通り」と肯定的な回答を寄せたのは、発酵食品学科が最も多く77.7%だった。ついで僅差で国際経営学科の77%、人間関係学科(75%)、食物栄養学科(73%)、国際言語・文化学科(65.4%)、史学・文化財学科(64.1%)の順。全体を通じてキャリア支援の強化や、社会全体の就職状況の改善などが要因として考えられるが、その反面、「あまり希望通りではない」または「全く希望通りではない」と回答した卒業生も全体の12%いることも無視でき

ないデータと認識し、その方策について検討する必要もあるだろう。

本調査では、学生の学修成果と DP の達成度をより詳細に把握するため、「6. 大学生活で以下の知識・能力がどの程度身についたか」という質問項目において、18 の新たな項目を追加し、選択肢を 4 段階評価(「かなり身についた」、「ある程度身についた」、「あまり身についていない」、「全く身についていない」)とした(p. 8~27に結果掲載)。

18項目のうち、14項目については、「かなり身についた」、または「ある程度身についた」の回答が多かったものの、「自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる」(6-8)、「外国語で読み、書き、聞き、話す」(6-13)、「国際的な視野」(6-17)、「データサイエンス ai 活用能力」(6-18)については「あまり身についていない」の人数が一番多かった。今後、これら結果の背景について、それぞれ分析を試みる必要があると考える。

「7. 卒業論文、卒業研究時の制作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか」という質問に対し、大学全体で「大いに役に立った」と回答した学生が22人(14. 8%)、「役立った」と回答した学生が45人(30. 4%)となり、合わせて 45%の学生が肯定的な回答を寄せた。昨年度の調査の肯定的な回答(44%)を若干上回る結果だったが、卒業論文等で培った能力が、卒業後の仕事や生活に活かされていると実感している学生が半数近くいた。ただ、「役立たなかった」と回答した者が 20 人(13. 5%)、「大学時代にもう少し能力を身につける努力が必要だった」と振り返った者が 14 人(9. 4%)で、合わせて23%が否定的な回答を寄せていることも無視できない数字だろう。

なお、以下に資料として提示した 8 の設問(自由記述)については、各学科等において参考にして今後の改善に大いに役立てていただきたい。

資料

「8. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください(自由記述)」

※自由記述については、個人情報保護の観点から内容を一部削除又は変更しております。

【国際言語・文化学科】

- 色々考えて行動することができた
- 研究や講義課題を通して、自分で情報を収集し、行動できるようになった
- 自分の興味のあることをじっくりと時間をかけて学ぶようになったこと。

- 自己管理できるようになった。
- 周囲を見て行動すること。ある程度に合わせた動きで自分の意見と照らし合わせながら周囲の人間の行動に合わせていくことができるようになった。
- 専門的な授業が多いことで、自分の取得したい資格について具体的に学ぶことができ、先生方の手厚いサポートのおかげで最後まで諦めずに勉強をする習慣を身につけることができました。
- 自分のことを知れた。
- 今まで時間がなくてできなかつたことを思う存分できたので、卒業後も漫画の知識や経験が多少なりとも活かせている。
- 英語の基礎が学べた。

【史学・文化財学科】

- サークル活動で部員をまとめる中で、社会人になった時の基礎や教職課程に属す中で人にどうやって端的に工夫して伝える事ができるかを考える時ができた時です。
- ワードやエクセルのやり方。
- スポーツ振興会の幹部を勤めたこと。
- 考古学研究室での活動
- 学生寮の寮長や研究室の室長をしたこと
- 大学に入る前と比べて、行動力が向上した。大学で学んだ様々な事を起点に、興味を持つ物事の範囲が広がった。
- 様々な意見を資料・文献で参照し、友達と意見を交わすことで、多面的多角的な視点で考え、慎重に考えを構築できるようになった。
- 別府市のアウトリーチ活動に参加させていただいたこと。
- 気になることに対する探求、情報検索のやり方や解決の仕方
- 自分自身の努力・自己管理不足で教職課程を辞めることになってしまったが、就職活動に力を入れることに切り替え、内定を多く取り希望通りの就職先を見つけられたこと。多くの会社の人事の方と接する中で社会に出ることについて感じ、学ぶことができたこと。
- 卒論の制作をある程度満足の行く形で完遂出来たことは自信に繋がったと思う。
- 高校時代は通信制でひきこもり生活から、外に出ることができるようになった。興味があることを調べたり、実際に見に行ったりすることが出来るようになった。
- プレゼンテーション能力が向上したと思う。授業で、自分で調べ、資料作成し、発表するという経験は、仕事でも生かされている。発表をする経験を積んで社会人になれるのは、大卒のメリットだと考える。
- 卒論や課題を自分で調べて、自分の考えをうまくまとめる方法
- 留学を通じて、コミュニケーション力を鍛えることができた。
- 計画的に行動すること
- コミュニケーションや自己管理の難しさを知ったこと。2年生のディスカッションで非難され、それから学校生活が嫌になり不登校気味になった。真面目に単位を取得し目指していた資格も全て取得していたら今の生活とは違ったと後悔している。

【人間関係学科】

- 地元を離れて一人暮らしを始め、日常生活に工夫を施しながら楽しみを見つけようしたり、1人の空間の自由さを知るとともに家族と暮らせる有り難みを感じられたりするようになった。
- 多様性の理解が深まり、心の余裕に繋がった
- 過去の自分が小さく感じるようになったことが何度かあった。その度に少しでもできること増やそうと努力し、それでもできないならまた別のことや得意なこと、好きなことでもやるようになった。
- ゼミや卒論発表、実習報告などを経て人前で発表したりすることに抵抗が少なくなりました。
- 多様な人との関わりで価値観の違いを知り、受け入れる社会性が身につきました。
- 4年生の時、日々の授業や卒業論文の作成、アルバイト、勉強(大学院進学のため)を、下手くそなりにでも乗り越えたことは良い経験だったと思っています。
- アルバイトやサークル活動、ゼミでの人との交流からコミュニケーションの取り方を学んだ。
- 一番別府大学で良かったと思うことは教授陣の手厚いサポートでした。それ以外によかったことは自然があること、体育で温泉に入れること、ボランティア活動を身近に感じられることです。別府大学の教授陣がいたから身に付くことが出来た力が沢山あると思っています。かなり苦手な方もいましたが、結果的には非常に感謝しています。
- 資格取得のために試験対策の方法を学ぶこと。
- 大学時代の時間や繋がりを使って社会人の方たちと関わることで、自分の知見や甘さを理解することができた。

【食物栄養学科】

- 学科の専門知識はもちろんですが、課外活動(サークル、さつき祭実行委員など)でコミュニケーション能力と協調性が成長したと思います
- ゼミで指導教員とメンバーとで絆を培った。
- 国家試験の勉強
- 専門的知識の習得と勉強する習慣
- 大人を信じない事を学びました
- 小学生さんや高齢者さんに向けた調理実習です。同級生や先生方とともに準備し、実施した時間は貴重な経験となりました。
- 臨地実習を通して、どうゆうところで働いているかという現場を見ることができ、就職のイメージがわきやすかったです。また、実習前と後の自分では調理や知識の面についても学ぶことが多く成長できたと思う。
- 小学生を対象とした食育の経験。
- 周りをよく見て行動する力。
- 授業で習った事を日常に結びつけて考えられるようになった。
- word や PowerPoint、zoom などを使いこなせるようになったことです。
- 課外活動や資格を取得するための専門知識。

【発酵食品学科】

- 自分で講義や、ゼミなどの日程管理を行うことで自己管理能力が成長したと感じます。

【国際経営学科】

- 勉強が面白いと思えるようになった
- 自分自身で目標を定めて行動するという経験は現在も役に立っていると思います。授業の単位数やアルバイトやプライベートどれも大学時代に目標を立てて行ったことが経験として生きています。優先順位を決めて仕事をしていかないといけないのでそこにつながっています。1つ後悔しているのは在学中に留学ができていたらまた変わっていたかなと思います。
- 職場ではほとんどのところが大学で学んだ以上または学んだことのないところでも高いレベルが要求されるかと思います。お節介になるかと思いますが今いる在学生が少しでも次のステップに上がる際にこの職場に行けてよかったですと思えるように導いてあげてください。
- 当時はそう思っていなかったが、プレゼンテーション能力や、人との対話(コミュニケーション能力)はかなり高められたと感じる。実際に職場でも役に立っていると感じる。加えて、消防吏員をしているが、PC 関係はもっと積極的に覚えておくべきだったと後悔している。就職前の「消防」のイメージは身体ばかり動かす仕事だと思っていたが、実際はデスクワークも多く事務処理が大変である。そのため PC 操作ができるのと出来ないことでは雲泥の差があると感じた。
- 希望する就職先へ就職できるように努力をしたこと。

令和 7 年 7 月 30 日

別府大学
卒業生各位

別府大学
学長 友永 植

卒業生アンケートへのご協力のお願い

拝啓

盛夏の候、卒業生の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。
皆様がご卒業されてから、それぞれの就職・進路先において、ご活躍のことと存じます。
さて、本学では、卒業後社会に出られた皆様に、別府大学においての学びについて、ご意見を
求め、今後の大学における教育の改善に取り組んでまいりたいと考えております。
つきましては、皆様には大変お手数をおかけしますが、下記の卒業生アンケートに関するご案
内をご一読いただき、ぜひ、ご回答をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 卒業生アンケート実施の目的

卒業生アンケートは、卒業生から、本学における学習成果とそれぞれの進路先における社会的ニーズに対する主観的な満足度について調査し、本学が提供する教育プログラムを改善することを目的に実施するものです。

2. 調査対象

2022 年度・2020 年度・2018 年度卒業生

3. アンケート回答期限

令和 7 年 8 月 17 日(日)

4. 回答方法

URL、もしくは QR コードを用いて、インターネット上のアンケート回答ページへアクセスして、
ご回答ください。

URL: <https://forms.gle/aDSGr1HQWaRYs6TQ8>

以上



<問合わせ>
〒874-8501
大分県別府市北石垣 82
別府大学 キャリア支援課(満留)
TEL 0977-66-9623

2025年度別府大学卒業生アンケート

卒業生アンケートは、卒業生の皆様が別府大学における学習成果とそれぞれの進路先における社会的ニーズに対する主観的な満足度について調査し、大学が提供する授業プログラムを改善することに資する目的で実施するものです。

あなたの卒業された年度を教えてください。

1.2022年度卒業

2.2020年度卒業

3.2018年度卒業

あなたの卒業された学部・学科を教えてください。

1.文学部 国際言語・文化学科

2.文学部 史学・文化財学科

3.文学部 人間関係学科

4.食物栄養科学部 食物栄養学科

5.食物栄養科学部 発酵食品学科

6.国際経営学部 国際経営学科

1.あなたは別府大学で学んだことに満足していますか。

1.大変満足している

2.満足している

3.普通

4.あまり満足していない

5.満足していない

2.別府大学で学んだ中で良かったところを1位から3位まで回答してください

2-1.別府大学で学んだ中で最も良かったところ

2-2.別府大学で学んだ中で2番目にも良かったところ

2-3.別府大学で学んだ中で3番目にも良かったところ

「1.授業科目構成 2.授業の内容 3.ゼミ 4.クラブ・サークル活動 5.研究会活動 6.資格の取得 7.留学 8.アルバイト 9.ボランティア活動 10.インターンシップ 11.留学生との交流 12.友人づくり 13.学園祭 14.奨学金制度 15.就職・進路指導 16.学校の設備」

3.あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか。1位から3位まで回答してください

3-1.最も向上した知識・能力

3-2.2番目に向上した知識・能力

3-3. 3番目に向上した知識・能力

「1.教養、多様性の理解 2.専門知識 3.課題発見・解決力 4.論理的思考力 5.自己管理力
6.コミュニケーション力 7.社会貢献・社会参加の経験 8.協調性 9.プレゼンテーション力
10.学習意欲・好奇心 11.情報収集力 12.情報リテラシー 13.外国語能力 14.国際力・国
際感覚 15.データサイエンス・AI活用能力」

4. 就職してから社会人として必要と思われる知識・能力はどのようなことですか。1位から3位まで回答してください

4-1. 最も必要と思われる知識・能力

4-2. 2番目に必要と思われる知識・能力

4-3. 3番目に必要と思われる知識・能力

「1.教養、多様性の理解 2.専門知識 3.課題発見・解決力 4.論理的思考力 5.自己管理力
6.コミュニケーション力 7.社会貢献・社会参加の経験 8.協調性 9.プレゼンテーション力
10. 外国語能力 11. 学習意欲・好奇心 12. 情報収集力 13. 情報リテラシー 14.国際力・
国際感覚 15.データサイエンス・AI活用能力」

5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。

1.希望通り

2.ある程度希望通り

3.どちらともいえない

4.あまり希望通りではない

5.全く希望通りではない

6. 大学生生活で以下の知識・能力がどの程度身についたか、最もよくあてはまるものを選んでください。

「1.かなり身についた 2.ある程度身についた 3.あまり身についてない 4.全く身について
ない」

(1)幅広い教養・一般常識

(2)社会や文化の多様性を理解・尊重し、異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる

(3)専門分野の基礎的な知識・技術

(4)現状を分析し、問題点や課題を発見し、既存の枠にとらわれず、新しい発想やアイデアを出
す

(5)ものごとを批判的・多面的に考え、筋道を立てて論理的に文章化する、あるいは問題を解
決する

(6)自分の適性や能力を把握し、自分の感情を上手にコントロールする、あるいは自分に自信
や肯定感をもつ

(7)自分で目標を設定し、計画的に行動する

(8)自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる

- (9)社会活動(ボランティア、NPO活動などを含む)に積極的に参加する
- (10)社会の規範やルールにしたがって行動し、人と協力しながらものごとを進める
- (11)問題を解決するために、数式や図表・グラフを利用し、実験や調査を適切に計画・実施する
- (12)自分の知識や考えを図表や数字を用いて表現する
- (13)外国語で読み、書き、聞き、話す
- (14)進んで新しい知識・能力を身につけようとする
- (15)多様な情報から適切な情報を取捨選択し、文献や資料にある情報を正しく理解する
- (16)コンピュータを使ってデータの作成・整理・分析する、文書・発表資料を作成し表現する
- (17)国際的な視野
- (18)データサイエンス AI 活用能力

7. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか。

- 大いに役立った
- 役立った
- 普通
- 役立たなかった
- 大学時代にもう少し能力を身に着ける努力が必要だった

8. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください(自由記述)

卒業生アンケートは以上となります。ご回答ありがとうございました。